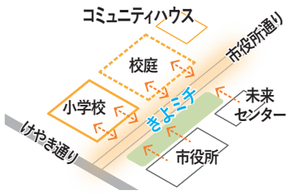
1．配置計画

■ 配置計画の考え方

・新校舎は現小学校の校庭・体育館・プール跡地に配置し、けやき通りに面する部分は低層とすることで、近隣への圧迫感等に配慮した計画とします。



・道路拡幅される市役所通りに沿って、学校と地域の交流プロムナードとして「きよミチ」を設けます。
・銘木・巨木100選のいちょうを見ながら児童が安全に通学することができる「いちょうプロムナード」を設けます。
・いちょうプロムナードは清瀬中学校と連続するように設け、旧校舎解体工事中の安全な通学動線を確保します。

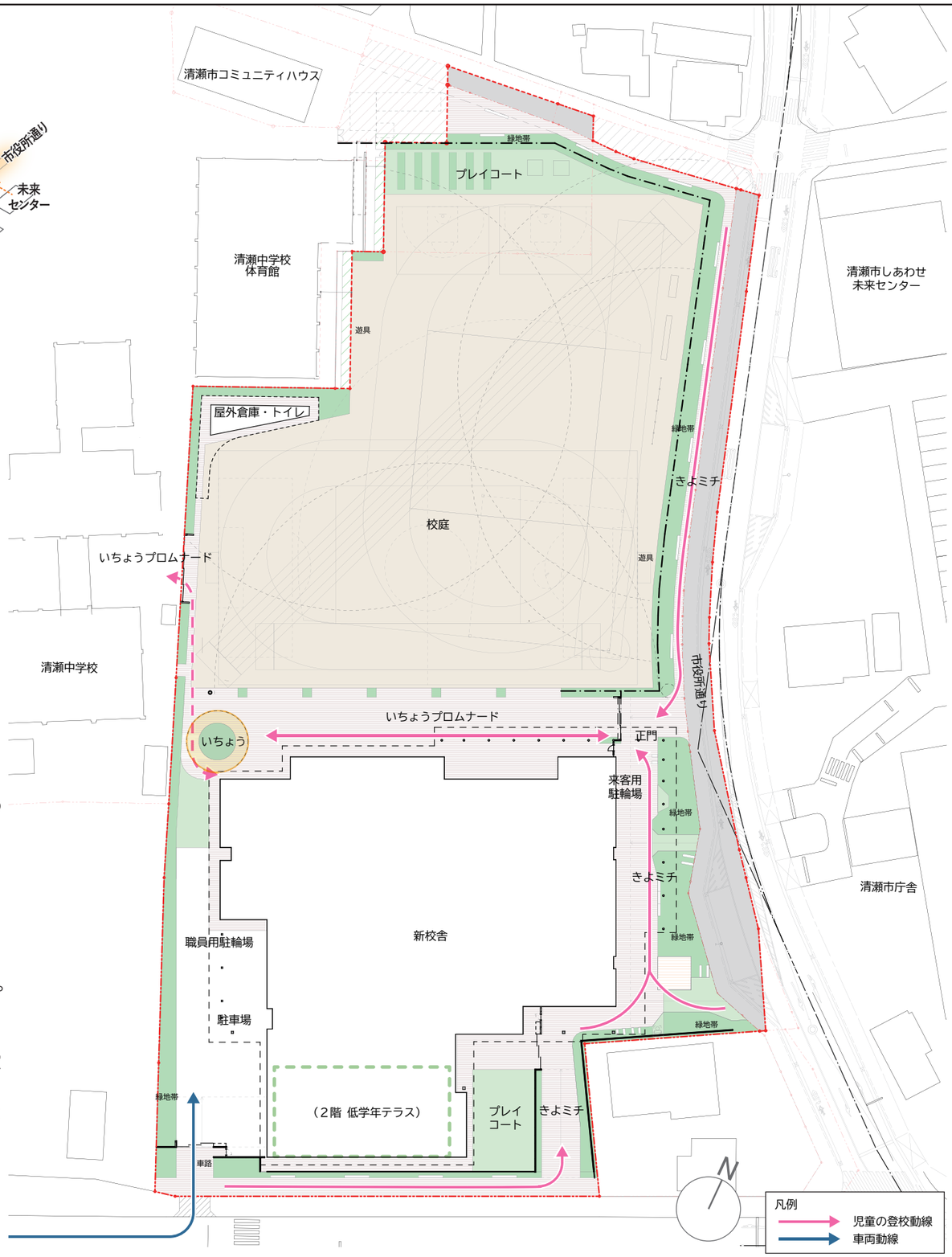
■ 屋外ひろばと遊び場空間

・校舎北側の広い「校庭」、校舎2 階「低学年テラス」、けやき通りに面する芝生の「プレイコート」、3つの屋外ひろばを配置します。

・大きさや環境の異なる3つのひろばで、児童の体格差に配慮した好奇心を刺激する清瀬小学校ならではの遊び場空間となります。
・低学年テラスやプレイコートは放課後の学童クラブの遊び場になるほか、旧校舎解体工事中は新校舎内の体育館と合わせて、児童の遊び場空間を確保します。

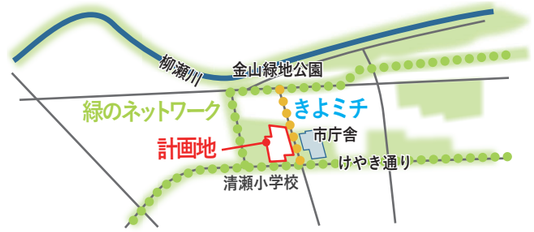
■ 動線計画

・児童が安心して通学できるよう、通学動線として敷地内に「きよミチ」「いちょうプロムナード」を計画します。
・正門に近接して来客用駐輪場を設けます。
・駐車場と職員用駐輪場の出入口は、正門から離れたけやき通り側に設けることで、児童の登校動線と明確に区分します。
・給食搬入口や職員通用口は駐車場に面した位置にまとめて設けます。
・けやき通り側の敷地を5mほど後退することで通行帯を設け、児童が安全に通学できる動線を確保します。



■ 緑のネットワーク

・柳瀬川、清瀬金山緑地公園の豊かな自然環境をつなぐ、緑のネットワークをつくります。
・きよミチに植栽を行うことで木陰が生まれ、ベンチを配置するなど市民がふらっと立ち寄れる広場を新校舎に面してつくります。



■ 外構・植栽計画

・きよミチに沿って設けた緑地帯には、児童からのアンケートを元に選定した樹種を中心に植栽するほか、児童や市民が共に育てられる花壇を設けます。

児童からのアンケート（抜粋）
（花）ひまわり、コスモス、パンジー、サザンカ、マーガレット、すずらん、ダリア、ブルーローズ、ゆり、ネモフィラ、ハイビスカス、バラ、たんぽぽ、チューリップ、あじさい、藤
（木・果樹など）サルスベリ、さくらんぼの木、エゴノキ、きんもくせい、イチョウ、梅の木、果樹園（ブルーベリーなど収穫できるもの）

・敷地の南北にあるプレイコートは天然芝で舗装し、児童が安心して遊べる空間とします。
・西側の敷地境界は、いちょうをはじめとした既存樹木を保存しながら植栽を行います。
・敷地と住宅が近接する部分は飛砂防止や防音に配慮し、常緑の中高木を中心に植栽を行います。

■ 小中連携・中学校改築を見据えた配置

・いちょうの木のまわりに屋根をかけることで、居場所をつくるとともに小中学校間を行き来しやすくします。
・清瀬中学校が将来改築されたとき、まなびミチが連続し小学校と一体的な学校運営が可能となるような計画とします。



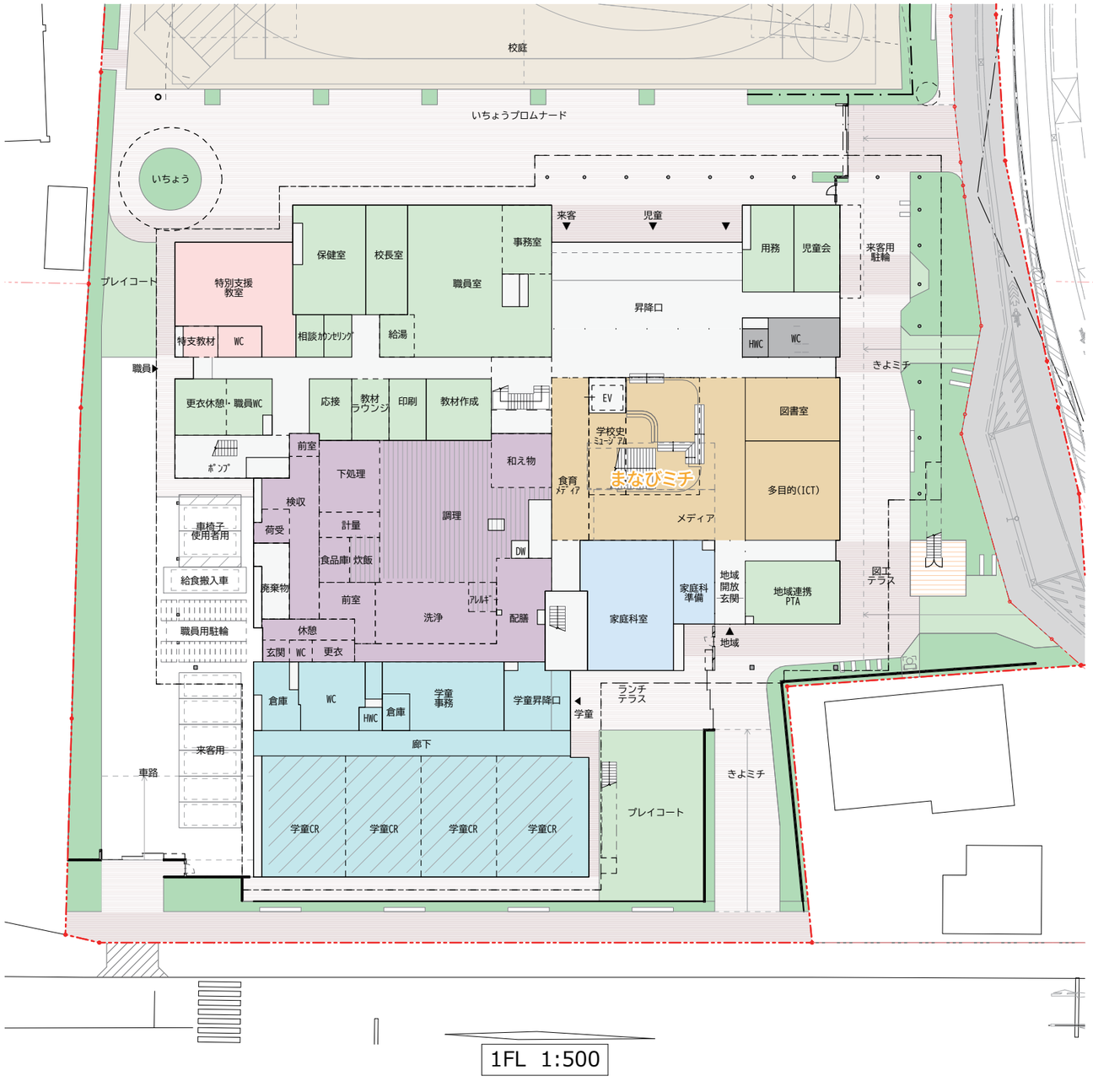
2．平面計画

■ 1階

・1階には管理諸室・特別教室のほか、給食室・学童クラブ・特別支援教室を配置します。
・管理諸室はいちょうプロムナードに面して設け、児童の登下校や校庭での活動を見守れる配置とします。
・特別教室は「きよミチ」に面して設け、学校開放や避難所活動の際に外部と一体的に利用できる配置とします。
・昇降口正面の「まなびミチ（ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ）」に、専科のメディアスペースや学校史ミュージアムを設けます。

■ 2階

・2階には普通教室・小教室のほか、体育館・特別支援学級を配置します。
・中央の「まなびミチ（ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ）」に、学年で集まれるスペースとしてアトリウムや階段ホールを設けます。



2．平面計画

■ 3階

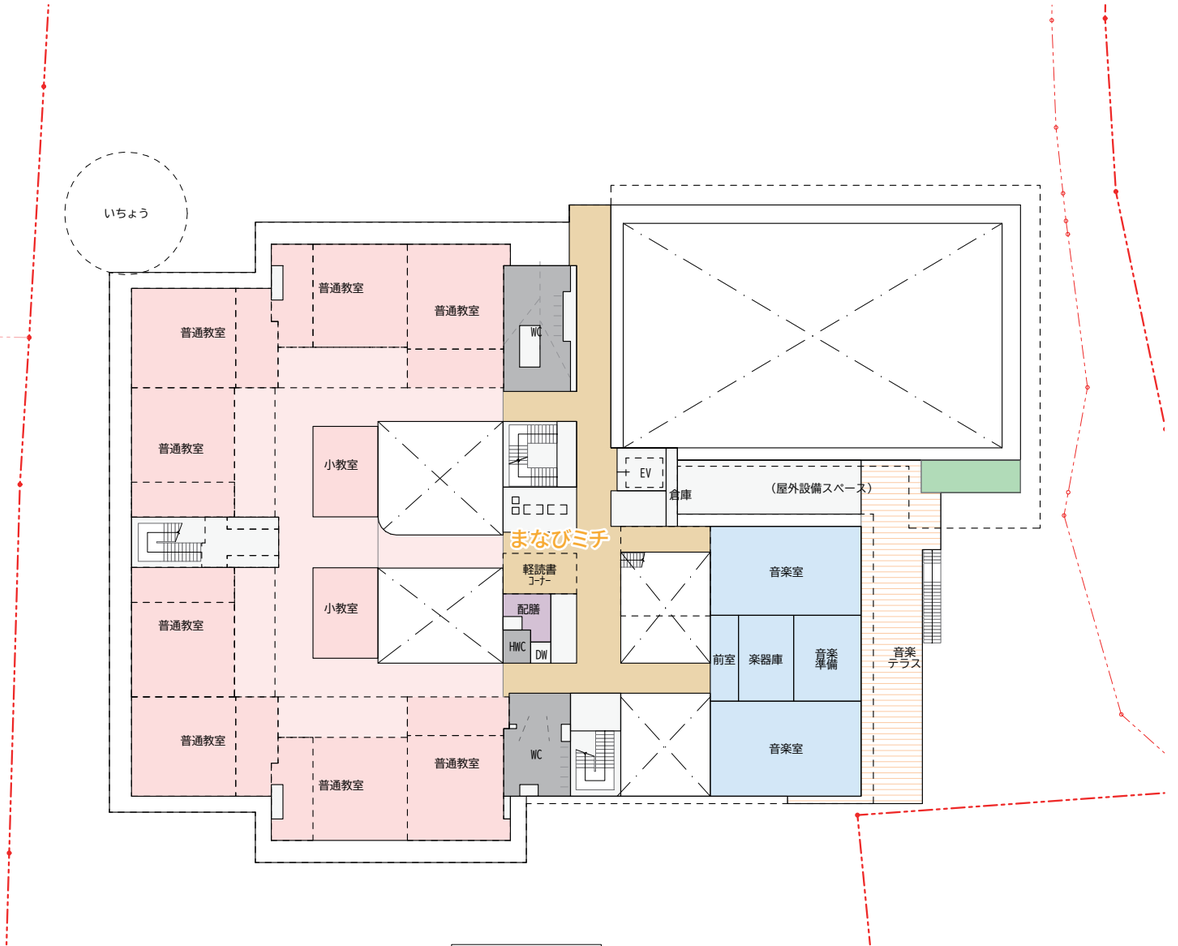
・3階には普通教室・小教室のほか、理科室・図工室を配置します。
・学校図書を配架する書架は、図書室を含め各階の「まなびミチ（ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ）」全体に配置します。

■ 4階

・4階には普通教室・小教室のほか、音楽室を配置します。



3FL 1:500



4FL 1:500

凡例
- 普通教室
- 普通教室まわり
- 特別教室
- ラーニングコモンズ
- 体育施設
- 学童
- 廊下など
- 給食室

3．立面計画

■ 立面計画の基本的な考え方

・建物高さを４階に抑え、周辺への日影の影響や、町並みとの調和に配慮した計画とします。
・各階のバルコニーにより水平ラインを強調したのびやかなデザインとします。

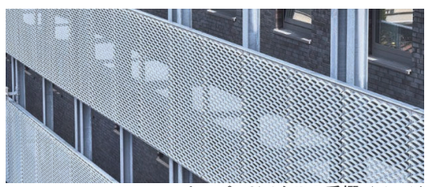
■ 合理的で経済的な外装仕上げの採用

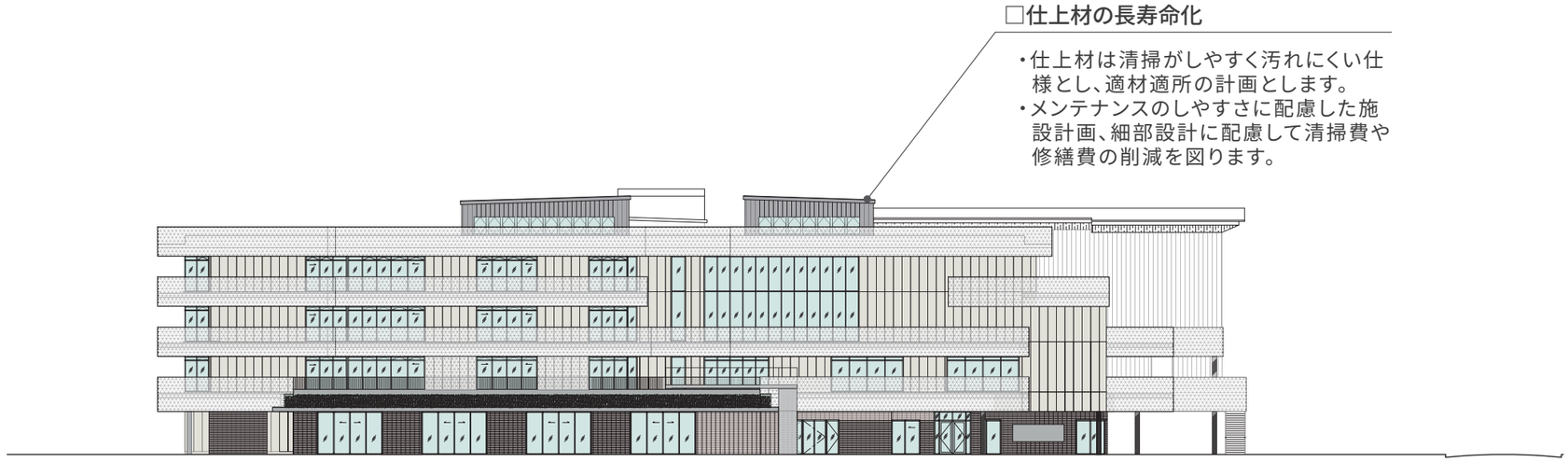
・外壁は経済性を考慮し、押出成形セメント板を採用します。
・体育館の外壁は軽量化を図るため、バルコニーを設けない構成とし、耐久性のある金属葺きを採用します。
・まちミチとなる1階の外壁は耐久性や美観性の高い化粧レンガブロックの採用を検討します。
・開口部はすべて耐腐食性や経済性に優れたアルミ製サッシを採用します。
・バルコニーの手摺は目隠し機能や通風性が確保できるエキスパンドメタルの採用を検討します。


押出成形セメント板の外壁イメージ

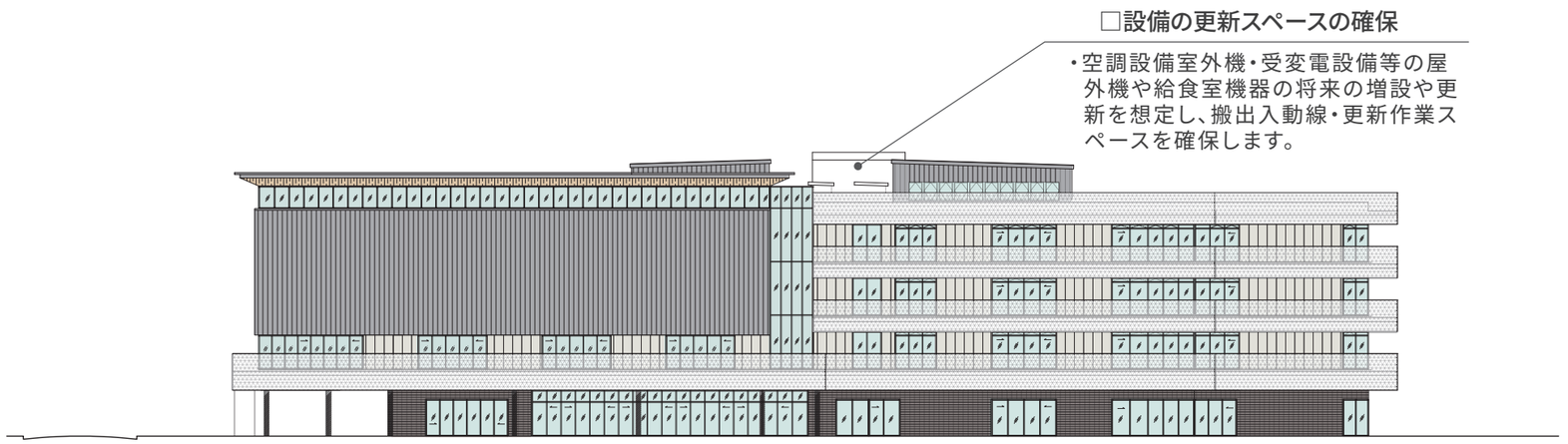

金属葺きの外壁イメージ


化粧レンガブロックの外壁イメージ


エキスパンドメタルの手摺イメージ

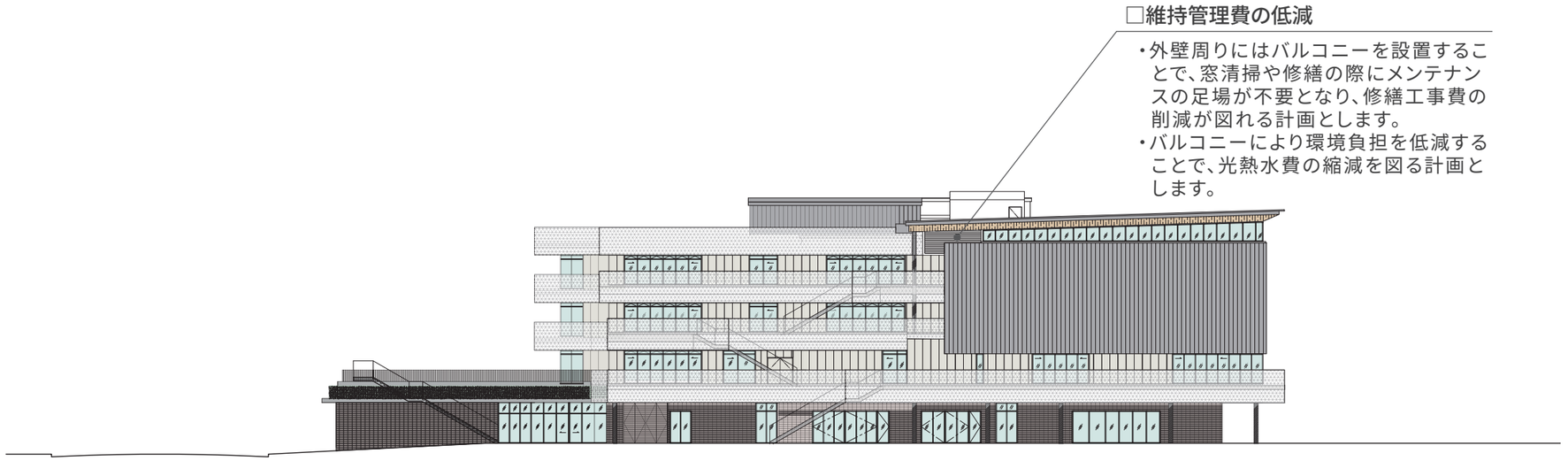


南立面図



北立面図

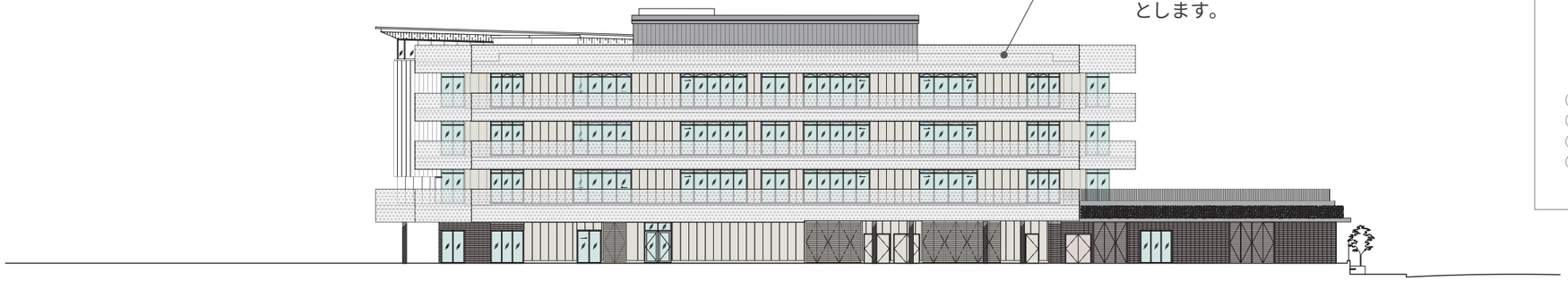
3．立面計画



□維持管理費の低減

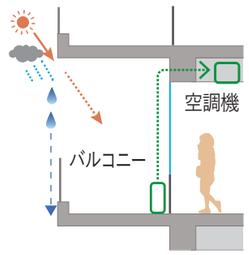
・外壁周りにはバルコニーを設置することで、窓清掃や修繕の際にメンテナンスの足場が不要となり、修繕工事費の削減が図れる計画とします。
・バルコニーにより環境負担を低減することで、光熱水費の縮減を図る計画とします。

東立面図



□設備の長寿命化

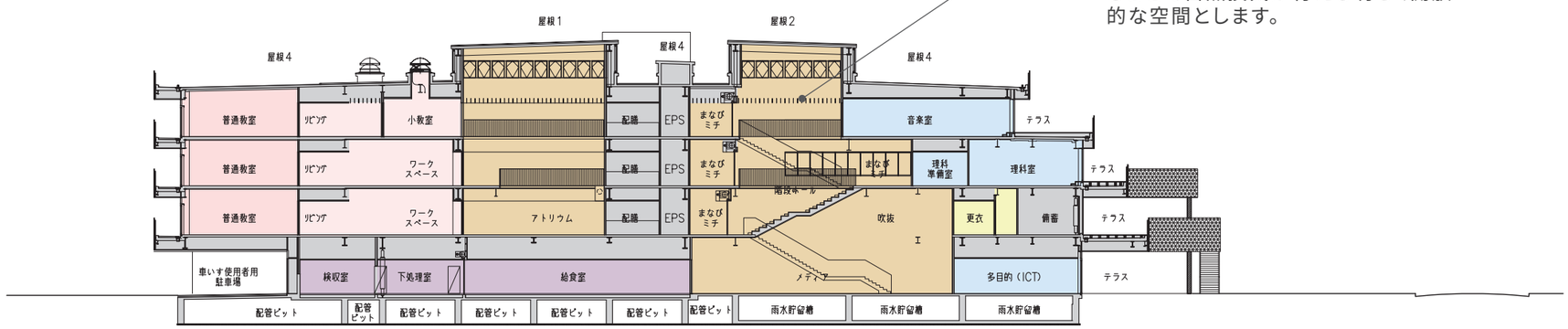
・日常のメンテナンスを授業の妨げとならない場所からできる計画とします。
・衛生器具の選定にあたっては、日常清掃や改修工事の低減化に配慮した器具を選定し、常に清潔感を保てる計画とします。



①日射遮蔽で空調負荷低減
②雨、紫外線による外壁仕上の劣化を抑制
③容易な外壁点検
④更新しやすい室外機配置
　故障時も外部から改修

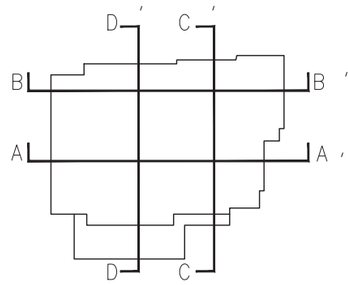
西立面図

4．断面計画

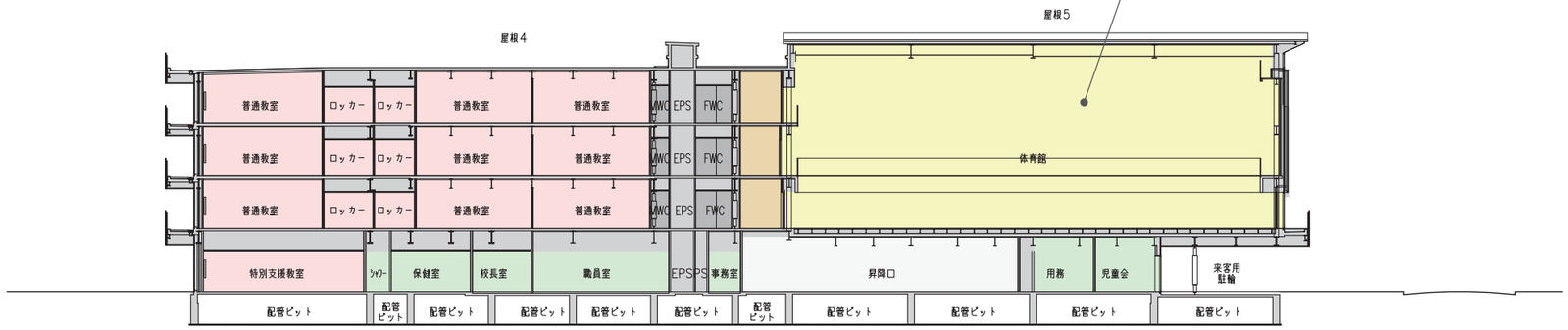


□明るく開放的な吹抜け空間

・アトリウムや階段ホールの吹抜けは最上部に開閉可能なトップライトを設けることで自然換気が行える明るく開放的な空間とします。



A–A 断面図



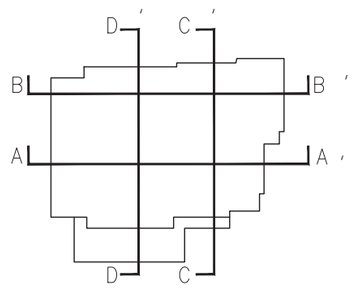
□行き来しやすい体育館

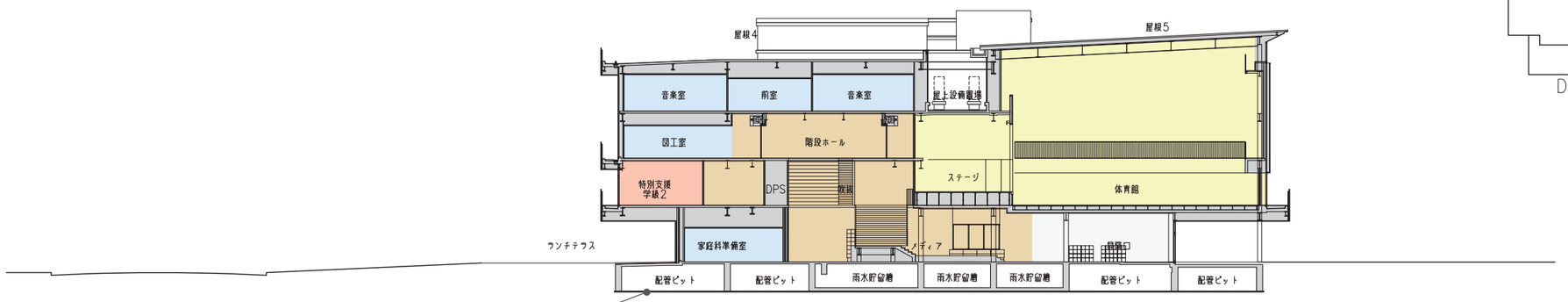
・2～4階に配置している普通教室からの行き来に配慮し、2階に体育館を配置します。

凡例
- 普通教室
- 普通教室まわり
- 特別教室
- ラーニングコモンズ
- 体育施設
- 学童
- 廊下など
- 給食室

B–B 断面図

4．断面計画





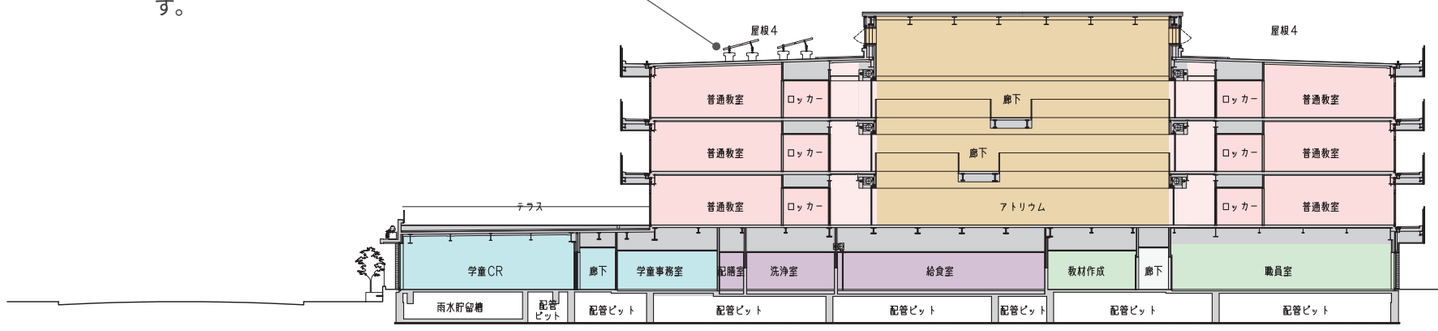
□地下ﾋﾟｯﾄの有効活用

・建物下部を全面ピットとし、設備配管スペースや雨水抑制槽・雑用水槽として有効活用できる計画とします。

C－C 断面図

□十分な採光が確保できる普通教室

・普通教室は外部に面して配置することで十分な採光を確保できる計画とします。



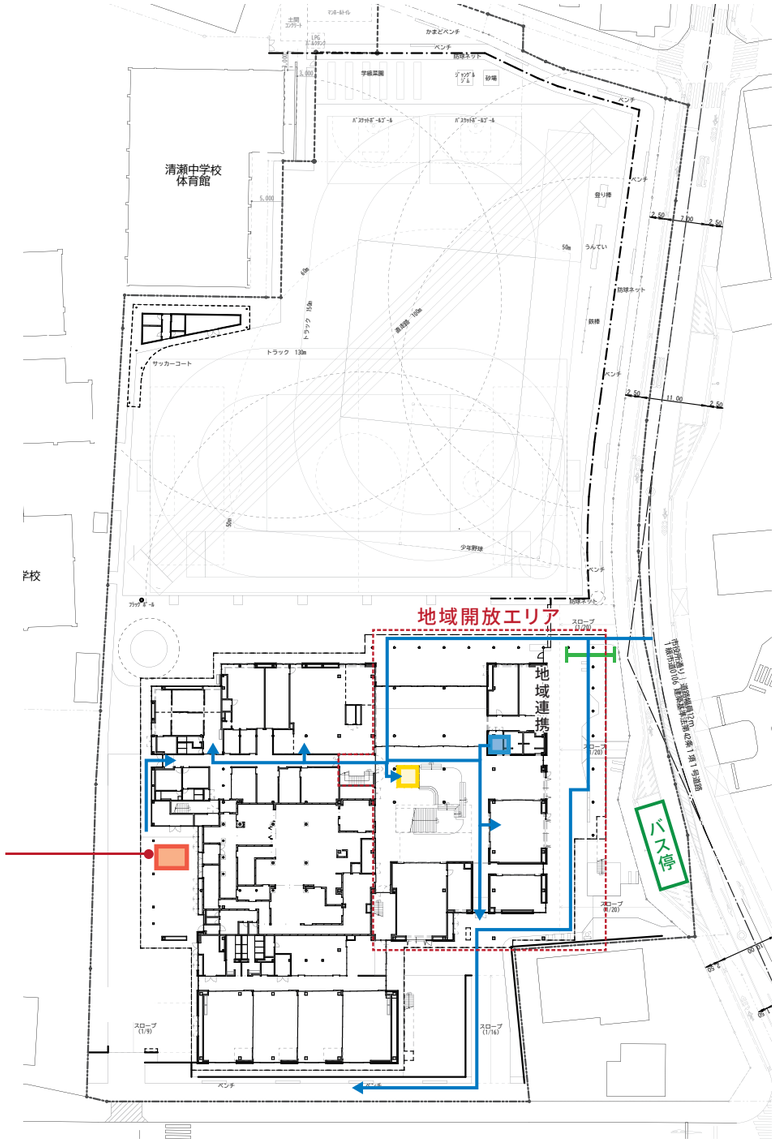
D－D 断面図

凡例
- 普通教室
- 普通教室まわり
- 特別教室
- ラーニングコモンズ
- 体育施設
- 学童
- 廊下など
- 給食室

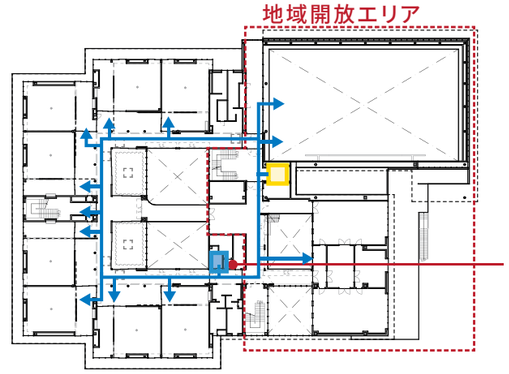
5．バリアフリー計画

■ バリアフリー計画について

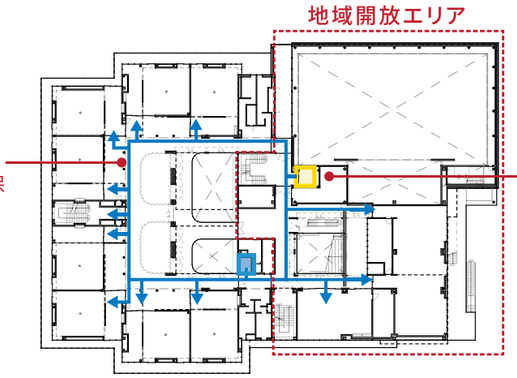
・東京都「建築物バリアフリー条例」及び「福祉のまちづくり条例」に基づいた計画とします。
• 子供や高齢者等の施設利用者が利用しやすいようユニバーサルデザイン化を図ります。
• 廊下幅員は有効1.4ｍ以上、主要廊下は2.1m 以上を確保し、車椅子使用者や障害者等の移動に配慮します。
・車椅子使用者用駐車場はピロティに計画することで、雨に濡れずに施設内にアクセスできる計画とします。
・バリアフリー対応のEVを計画することで、車椅子使用者や高齢者等も不自由なく施設利用できる計画とします。
・26人乗りの乗用エレベーターを計画し、ストレッチャーや車椅子などの移動を円滑にします。
・各階にバリアフリートイレを計画します。



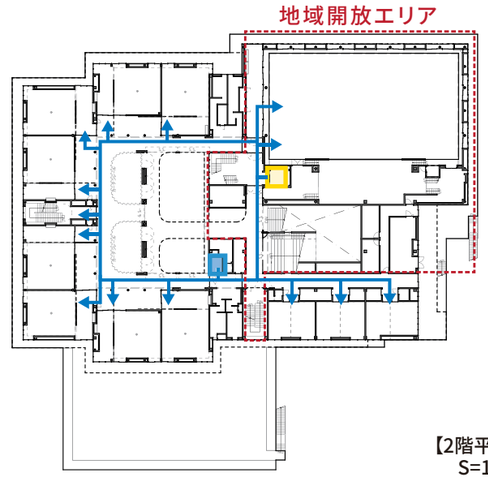
【1階平面図】
S=1:1000



【4階平面図】
S=1:1000



【3階平面図】
S=1:1000



【2階平面図】
S=1:1000

バリアフリートイレの仕様

設置階数	個所数	仕様
4階	1	車椅子使用者対応トイレ、手摺
3階	1	車椅子使用者対応トイレ、手摺
2階	1	車椅子使用者対応トイレ、手摺
1階	1	車椅子使用者対応トイレ、手摺、オストメイト、ベビーチェア、フィッティングボード、ユニバーサルシート

【凡例】

：EV(バリアフリー対応)
乗降ロビー 1500×1500以上
：バリアフリートイレ
：車椅子使用者用駐車場
：移動等円滑化経路
・直接地上へ通ずる出入口幅100cm
・出入口幅85cm
・廊下幅140cm以上
・階段部 視覚障害者誘導ブロック
：視覚障害者誘導ブロック

6. 避難所計画

■ 災害時の基本的な考え方

・地域開放エリアと避難所が同じ開放区画となる計画とし、災害時即座に対応できる計画とします。
・校庭に隣接して屋外WCを計画することで災害時の利用のし易さに配慮します。
・「きよミチ」の軒下空間は、一次物資受入や炊出しに活用出来ると共に、一時的に避難者を受け入れる半屋外空間に転換し雨に濡れない待機場所となります。

■ 指定緊急避難場所・指定避難所としての機能

【建築】

・1,2階のフロアでは地域開放エリアのセキュリティラインをそのまま避難所のセキュリティラインとして利用できる安全な避難所計画とします。
・備蓄倉庫は屋内に配置し、体育館との連携がしやすい配置とします。
・清瀬中学校とは門扉を通じて行き来できるよう計画し、同じく避難所となる清瀬中学校との連携に配慮します。

【構造】

・耐震安全性の分類は東京都財務局「構造設計指針・同解説」よりII類（必要保有水平耐力1.25 倍割増し）を採用します。

【機械設備】

空　　調：災害時空調が必要な体育館、多目的室、図工室、家庭科室に電源自立型GHPを設置します。

衛生器具：大便器はフラッシュタンク式を採用し、断水時でも水をタンクに補給することで使用可能とします。

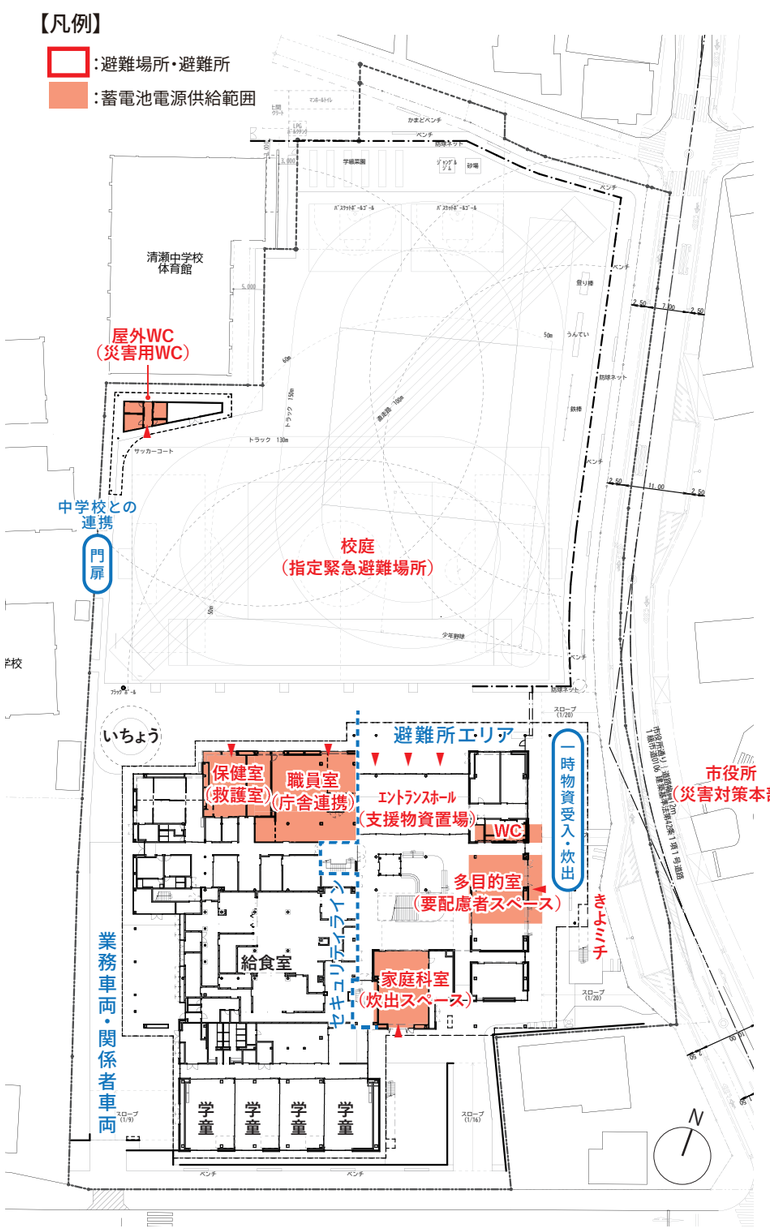
給　　水：1・2階は直結直圧給水方式とし、停電時でも水道本管の圧力により給水することができます。断水時は雑用水ピットを水源とし、手動ポンプによりバケツ等で給水します。
※飲み水はペットボトルの備蓄対応とします。

排　　水：災害時利用トイレの排水を3日間（72時間）貯留できる貯留槽を設置します。

【電気設備】

・太陽光発電設備の自立運転により必要箇所へ電源供給を行います。曇りや夜間の利用を考慮し蓄電池設備を設置します。
・停電対応機能付GHPの自立運転により必要箇所へ電源供給を行います。（空調運転時以外）

■ 災害発生から7日間の施設利用イメージ



【1階平面図】
S=1:1000

■ 清瀬小学校の防災施設としての位置づけ ※清瀬市地域防災計画

【清瀬市防災マップ】

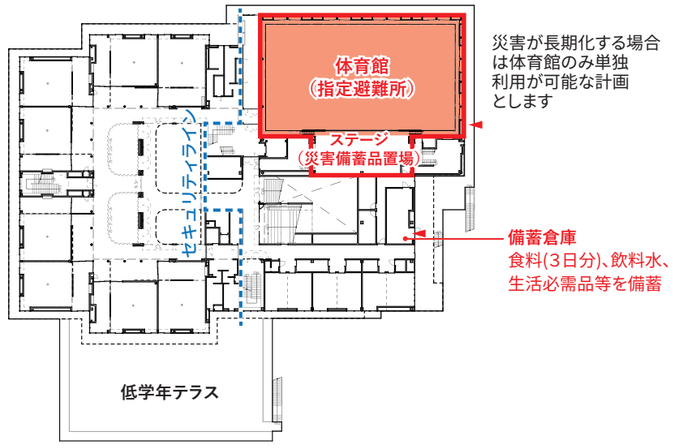


指定緊急避難場所　：グラウンド
（災害発生から72時間以内を想定）

指　定　避　難　所　：体育館等
（災害発生から７日間程度まで開設）

【凡例】





【2階平面図】
S=1:1000

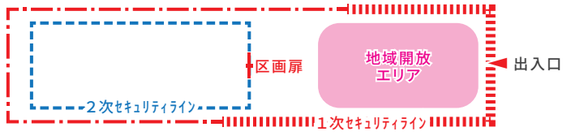
7 - 1. セキュリティ計画概要

■セキュリティラインの基本的な考え方

・1次セキュリティライン（▬ ▬）（▮▮▮▮）
正門・管理門等を閉めることで、フェンスと外壁によるセキュリティを確保することが可能です。

・2次セキュリティライン（▬ ▬）
学校開放エリア全体を地域に開放することが可能です。

【セキュリティの構成イメージ】



■きよミチが利用しやすいセキュリティ

外周に整備される「きよミチ」をより使いやすくするため、通行の妨げや景観に配慮し、外壁によるセキュリティで計画し、建物の無い箇所についてはフェンス等で防犯性を高める計画とします。

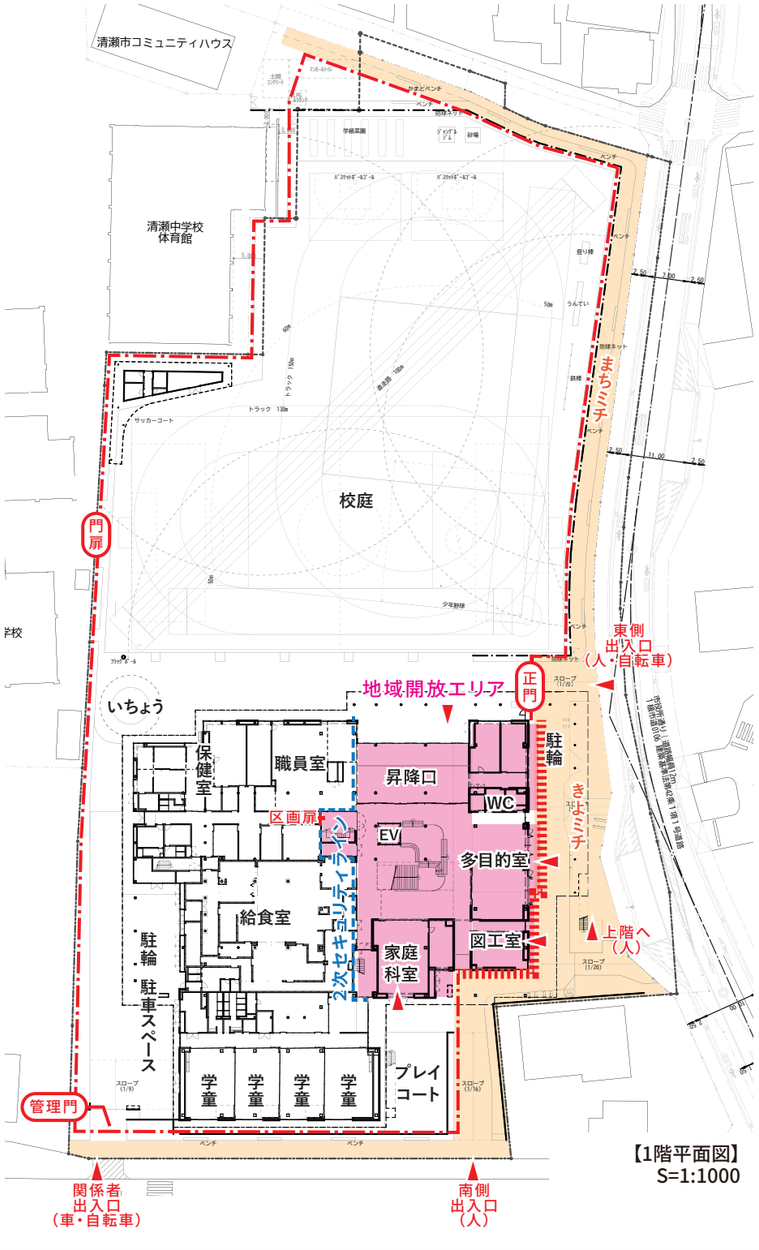
■安心安全な地域開放エリア

区画扉および扉の施錠により地域開放エリアを限定します。地域開放エリアとなる音楽室、家庭科室、体育館、多目的室、図工室、理科室などを各階東側の外壁に面して集約設置し、共用機能である更衣室、トイレなども開放区画内で支障なく利用できるセキュリティラインを形成します。また、バリアフリー動線として昇降口からEV を利用するルートを確保します。

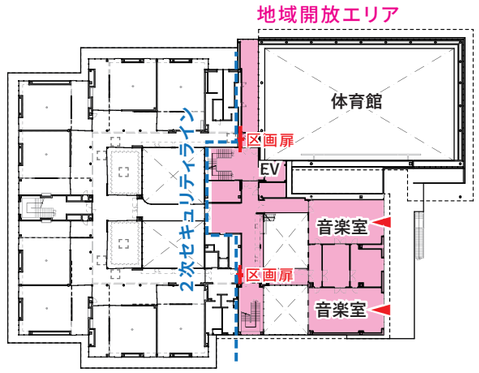
■ セキュリティ計画

【凡例】

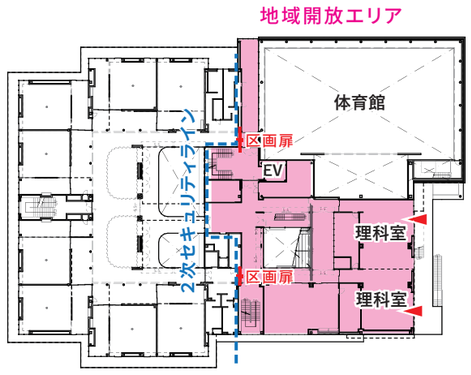
- 1次セキュリティライン（外壁）
- 1次セキュリティライン（フェンス）
- 2次セキュリティライン
- 1次セキュリティ時の出入口
- :きよミチ
- :地域開放エリア



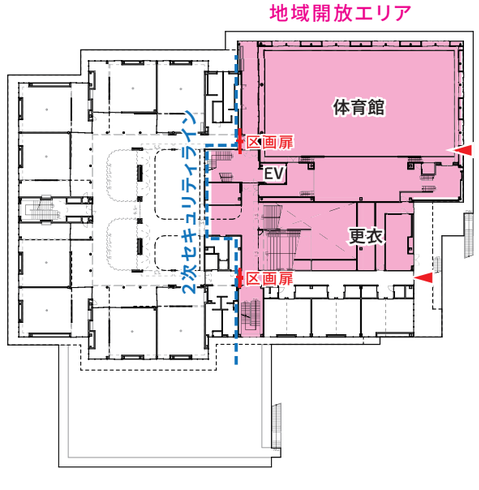
【1階平面図】
S=1:1000



【4階平面図】
S=1:1000



【3階平面図】
S=1:1000



【2階平面図】
S=1:1000

7 - 2. 地域開放施設利用の想定

■現状について

・現在、体育館にはスマートロックが導入されており、市の公共施設予約システムで予約を入れた際に発行される暗証番号を用いて開錠する。
・スマートロックのネットワークには、GIGAスクール構想で整備したネットワークを使用しており、機械警備との連携はしていない。
・機械警備キーは体育館内のキーボックスに入っており、利用者は体育館に入館したのち機械警備を解除する運用としている。(キーボックスは運用面を考慮し施錠しない方針としている。)

■地域開放の方針

・新校開校後、学校運営が落ち着くまでの2年間は、体育館のみを開放する。
・まなびミチ(図書室)では図書の貸出は行わず、図書の閲覧や学習・交流の場として開放する。
・音楽室は、近隣配慮のため19時までの開放とする。
・地域開放時は、本の整理や各種案内、最終退出確認等を行うコンシェルジュを2名配置する。

■開放時のセキュリティ

・平日17時以後や休日は、昇降口・通用口やまなびミチに面する開放施設をオートロックで施錠し、地域開放エリアを区画する。
・開放利用者向けの端末を昇降口や開放施設に設置し、開放利用者はQRコードを使用して入校・入室する。
・教職員は職員証を利用して通用口や開放施設、地域開放エリア外に出入りできる計画とする。

	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度～ (2032～)	開放時間（案）	
	現校舎利用				新校舎利用				平日	休日
			(新校建設期間)		(校庭整備期間)					
グラウンド	○	○	×	×	×	×	○	○	×	9：00～17：00
体育館	○	○	×	×	○	○	○	○	17：00～21：00	9：00～21：00
まなびミチ（図書室）	×	×	×	×	×	×	○	○	17：00～21：00	9：00～21：00
図工室	×	×	×	×	×	×	×	○	17：00～21：00	9：00～21：00
家庭科室	×	×	×	×	×	×	×	○	17：00～21：00	9：00～21：00
多目的室	×	×	×	×	×	×	×	○	17：00～21：00	9：00～21：00
音楽室	×	×	×	×	×	×	×	○	17：00～19：00	9：00～19：00

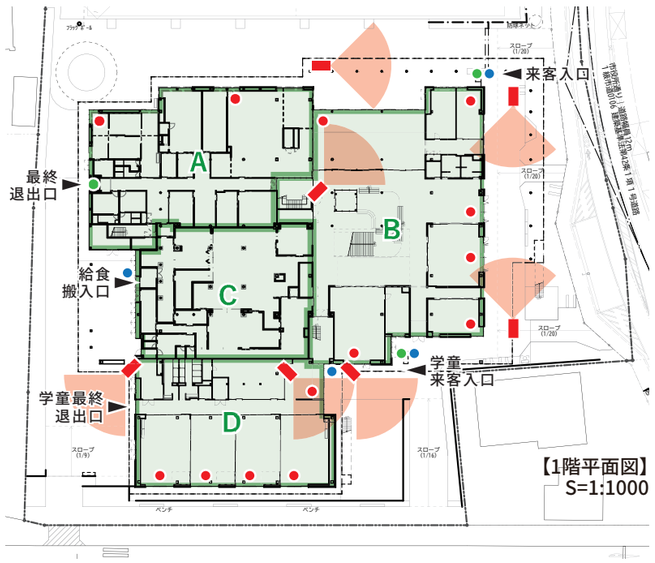
※赤字は現状の開放時間と異なる

7 - 3. 機械警備範囲図

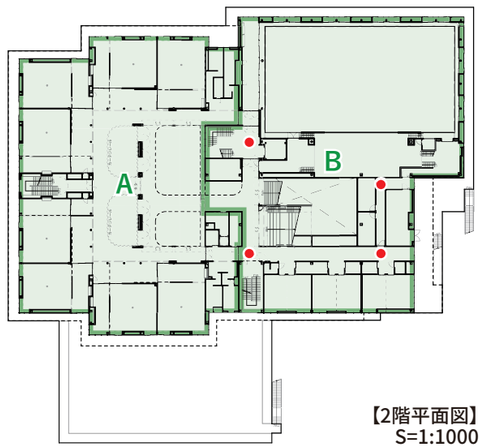
■機械警備

・小学校、まなびミチ、給食室、学童保育室の4エリアに区分し、エリアごとに警備できる計画とします。
・不審者の侵入を検知できるよう各所にパッシブセンサーを設け、主要な出入口には電気錠を設置します。
・1階の内外には監視カメラやインターホンを適切に設置し、児童の安全を確保できる計画とします。

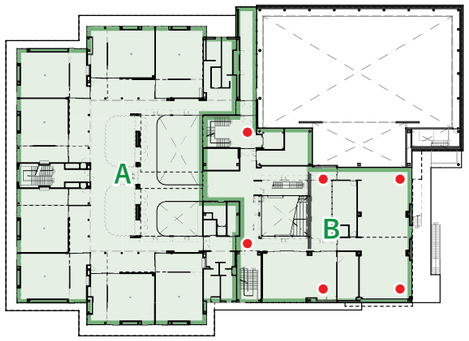
【凡例】
警備範囲
A 小学校
B まなびミチ(学校開放区域)
C 給食室
D 学童保育室
監視カメラ
パッシブセンサー
電気錠
インターホン



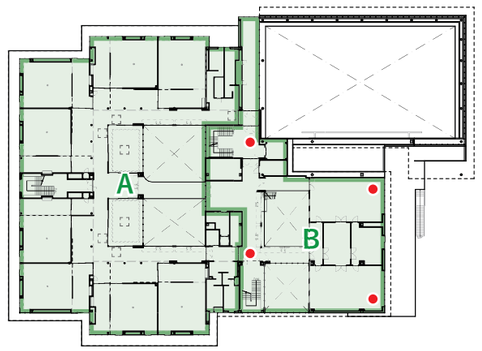
【1階平面図】 S=1:1000



【2階平面図】 S=1:1000



【3階平面図】 S=1:1000



【4階平面図】 S=1:1000

8 - 1. 外構計画

■ きよミチ：学校と地域をつなぐ交流プロムナード

・東側の市役所通りを学校と地域のプロムナードと位置づけます。きよミチに面して、体育館、多目的室、図書室、特別教室が面する構成とし、学校の活気が市役所通りにあふれる作りです。
・ベンチや植栽を計画し潤いあるまちづくりに貢献します。
・きよミチの入り口には地域活動連携室や用務室を配置し、大人の目で見守ることのできる計画とします。

■ 南側の歩道拡幅

・南側の歩道はバス停と近接しており、登下校時の児童の安全性向上のため、敷地の一部を歩道として整備します。校庭差を活用し、植栽、ベンチを設け、地域と児童のつながる接点を作ります。

■ イチョウプロムナードで小中の交流と登下校プロムナード

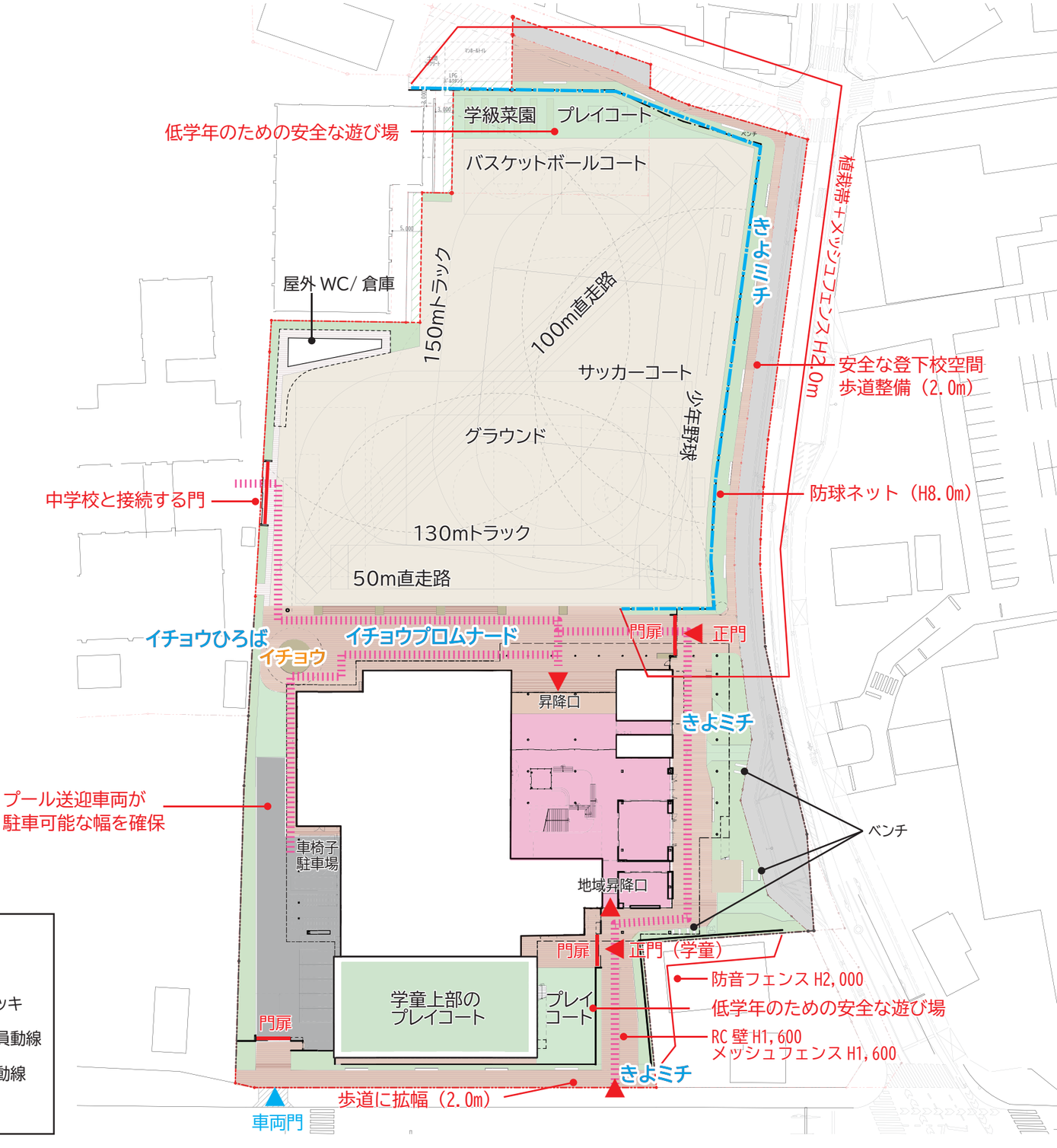
・１００銘木のイチョウの下に広場をつくります。中学校に近く、つながる導線は小学校と中学校の連携を高められる計画とします。
・工事中は中学校側からアプローチし、南側の工事エリアと明確に分離できる導線計画です。

■ 歩車分離を図る車両出入り口の新設

・南西角に車両出入り口を新設し、給食や備品搬入、来校者用駐車場を設けます。プールへのバスの送迎がスムーズにできる広さを計画します。

■ 2つの屋外の「ひろば」で健やかな成長

・校舎北側の広い校庭と学童の上階（2階）に南向きのプレイコートの２つの「ひろば」を配置します。児童の体格差や利用時間の違いに配慮した計画とします。
・校庭には、130ｍトラックの他最大で150ｍトラックの確保が可能な広さと、100ｍ直走路、バスケットボールコート（ハーフ2面）、野球（練習用）、サッカーコート（練習用）を計画します。
・北側のプレイコートには学級菜園や遊具（ジャングルジム、砂場）を配置します。
・遊具は鉄棒、雲梯、上り棒を配置します。



きよミチとは

・きよミチの名称は4年生から6年生までの児童から名称を募り、決定したものです。
　清瀬の町にある通りというイメージのほか、清々しい挨拶が聞こえてくるようなハキハキとした清瀬小学校の子供たちの様子が感じられます。ミチには道のほか未知と変換することができ、生涯学習機能としての未知との出会いが感じられ、この場所での活動が、わくわくするようなイメージを感じることができます。

凡例

- インターロッキング舗装（車両仕様）
- アスファルト舗装
- クレイ舗装（改良材混合土舗装）
- 道路拡幅部分（砕石＋防草シート）
- 緑地
- 再生木デッキ
- 生徒・職員動線
- 地域開放動線

8 - 2. 雨水排水計画

東京都統合治水対策基準、東京都開発許可の基準に基づいた雨水対策量の計算を行い、比較検討を行う。

■東京都統合治水対策基準
　新河岸川流域整備計画：950m3/ha（事業区域 1ha 以上）
対策量（敷地面積：13138.5 ㎡）
　V1 ＝ 13,138.5m2÷10,000×950 ＝ 1,248.158m3→1,250m3

○A流域

対象面積 0.71515ha
流域対策量　950m3/ha
必要対策量　7151.5m2÷10,000×950 ＝ 682m3

緑地による浸透量 0.0968ha×50mm/hr=48.4m3
透水舗装による浸透量 0.1ha×20mm/hr=20.0m3
浸透側溝による浸透・貯留量 300m×0.3m3/m・hr=90.0m3
浸透桝による浸透・貯留量 18 基 ×1.2m3/ 基・hr=21.6m3
合計　　180m3
浸透貯留槽による浸透・貯留量
V=682-180=502m3

○B流域

対象面積 0.5967ha
流域対策量　950m3/ha
必要対策量　7151.5m2÷10,000×950 ＝ 566m3

緑地による浸透量 0.0968ha×50mm/hr=48.4m3
透水舗装による浸透量 0.1ha×20mm/hr=20.0m3
浸透側溝による浸透・貯留量 300m×0.3m3/m・hr=90.0m3

合計　　60.9m3
浸透貯留槽による浸透・貯留量
V=566-60. 9=505.1m3
雨水貯留槽による浸透量　　850m3＞505.1m3

■雨水貯留浸透槽容量（校舎地下ピット）

雨水貯留槽平面（㎡）	H（m）	1.6	W	L	X	a W=5	a W=10	K W=5	K W=10	平均	Qf m3/hr/箇所	Qm3/hr/箇所
											0.14	0.81
	58.25	1.6	93.2	7.4	7.871622	1.063733	1.901081	2.234514	83.53	137.09	108.8379953	15.23731934	88.15877616
	58.25	1.6	93.2	7.4	7.871622	1.063733	1.901081	2.234514	83.53	137.09	108.8379953	15.23731934	88.15877616
A	58.25	1.6	93.2	7.4	7.871622	1.063733	1.901081	2.234514	83.53	137.09	108.8379953	15.23731934	88.15877616
	37.86	1.6	60.576	5.116216	7.4	1.446381	1.718814	1.977895	76.37	125.83	68.96763027	9.655468238	55.86378052
	37.86	1.6	60.576	5.116216	7.4	1.446381	1.718814	1.977895	76.37	125.83	68.96763027	9.655468238	55.86378052
	47.97	1.6	76.752	6.396	7.5	1.172608	1.841279	2.14972	78.87	129.60	88.89032186	12.44464506	72.00116071
	40.59	1.6	64.944	5.412	7.5	1.385809	1.743103	2.011774	77.69	200.24	100.2776848	14.03887587	81.22492466
B	40.59	1.6	64.944	5.412	7.5	1.385809	1.743103	2.011774	77.69	200.24	100.2776848	14.03887587	81.22492466
	40.59	1.6	64.944	5.412	7.5	1.385809	1.743103	2.011774	77.69	200.24	100.2776848	14.03887587	81.22492466
	70.11	1.6	112.176	8.1	7.5	1.08	1.891641	2.22109	79.47	284.03	196.2938787	27.48114302	158.9980418
													850.877866

雨水排水ルートと降雨量に対する検討

・近年のゲリラ豪雨を踏まえ、練馬観測所において 2019 年 10 月に 38.5 ㎜ /10 分を観測していることから、40 ㎜ /10 分として雨水集水計画および雨どいの検討を行った。
・体育館屋根、校舎に降る雨は雨水利用や浸透としてピットに貯留・浸透することとして検討を行った。

○樋の断面積は、各エリアの屋根、壁（1/2）を集計し、樋断面積を算出した。
　体育館屋根エリアを除いてＶＰの場合 100φアルミの場合 114φ以上の樋を計画する。

1，樋に降る降水量の算出

QR=A*IR　A:樋が負担する屋根投影面積
IR:降雨強度

樋の本数 23

A:　壁面の場合はw*h/2　85.8 ㎡
IR=N/(10*60*1000)
N:１０分あたりの降雨量　40.0 mm/10min
IR=　0.000067 m/s

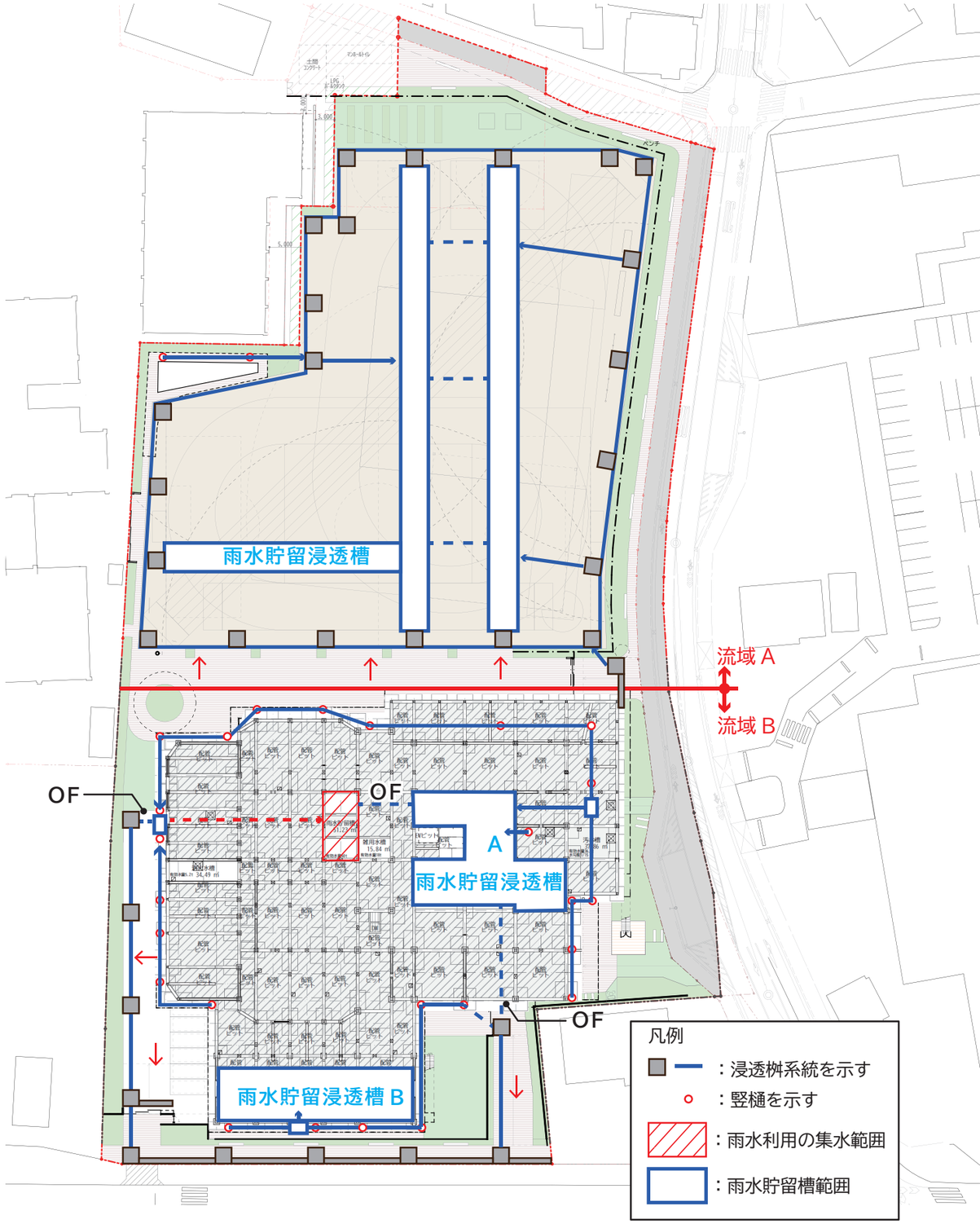
QR=A*IR　=　0.00572174 m3/s

2，落とし口断面の決定

Q=AD*VD　AD:落とし口の断面積 ㎡
Q:落とし口が負担する流量 m3/s
VD:縦樋の流速
VD=C*√(2gh)
C:流量係数　0.60
g:重力加速度　9.80 m/s2
h:水下の深さ（樋の深さ）　0.05 m

VD=　0.609 m/s

落とし口の断面積　150φ 100φ
AD=Q/VD　=　0.009 ㎡　0.017663 0.00785
150□ 114φ
落とし口の径（D）　0.0225 0.010202
D=2√(AD/3.14)=　0.109 m
∴ 114φ以上とする

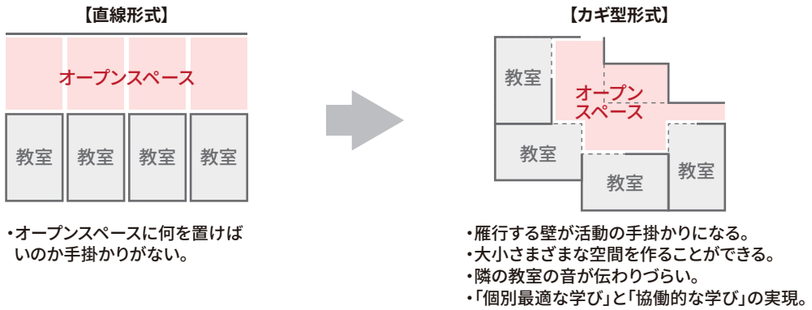


9 - 1. 学年ハウス

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両立する様々な出会いの場がある教室配置計画

・近年の学校教育では、子供たち個々人の適性に合わせた「個別最適な学び」と子供同士や多様な他者との「協働的な学び」の両方の実現が求められています。※
・従来の直線的な教室配置による画一的な教育の在り方ではなく、様々な出会いの場所をつくり、教育や活動の選択肢を増やす「カギ型形式」とすることで「個別最適な学び」を実現します。
・さまざまな活動の手掛かりを生み出すオープンスペースにより学習への興味・関心を誘発し、子供同士や先生と子供との出会いの場となることで「協働的な学び」を実現します。

※文部科学省「中央教育審議会」令和3年答申より



・オープンスペースに何を置けばいのか手掛かりがない。

・雁行する壁が活動の手掛かりになる。
・大小さまざまな空間を作ることができる。
・隣の教室の音が伝わりづらい。
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現。

■ S・M・L・XLの空間のバリエーションで様々な場をつくり教育の選択肢を広げる可変型オープンスペース

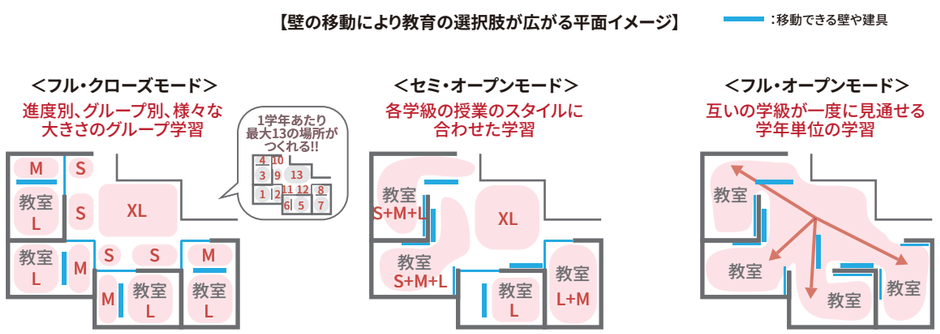
・教室の壁を段階的に開放できるようにすることで、S・M・L・XLの大小さまざまな空間をつくり、さまざまな教育形態に対応できる可変的な教室を実現します。

【S・M・L・XLの空間イメージ】

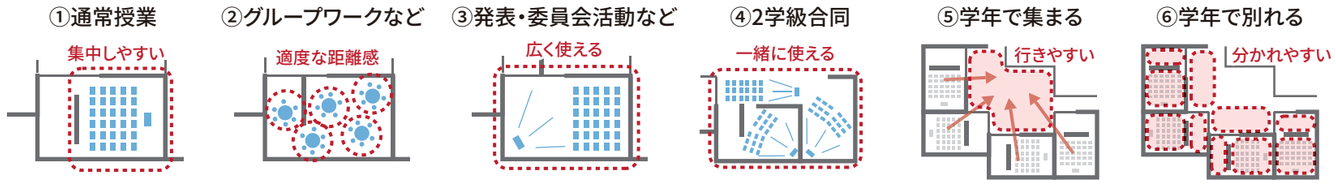


S：展示棚・ベンチ　M：ロッカー・グループコーナー　L：教室・小教室　XL：2学級のまとまり

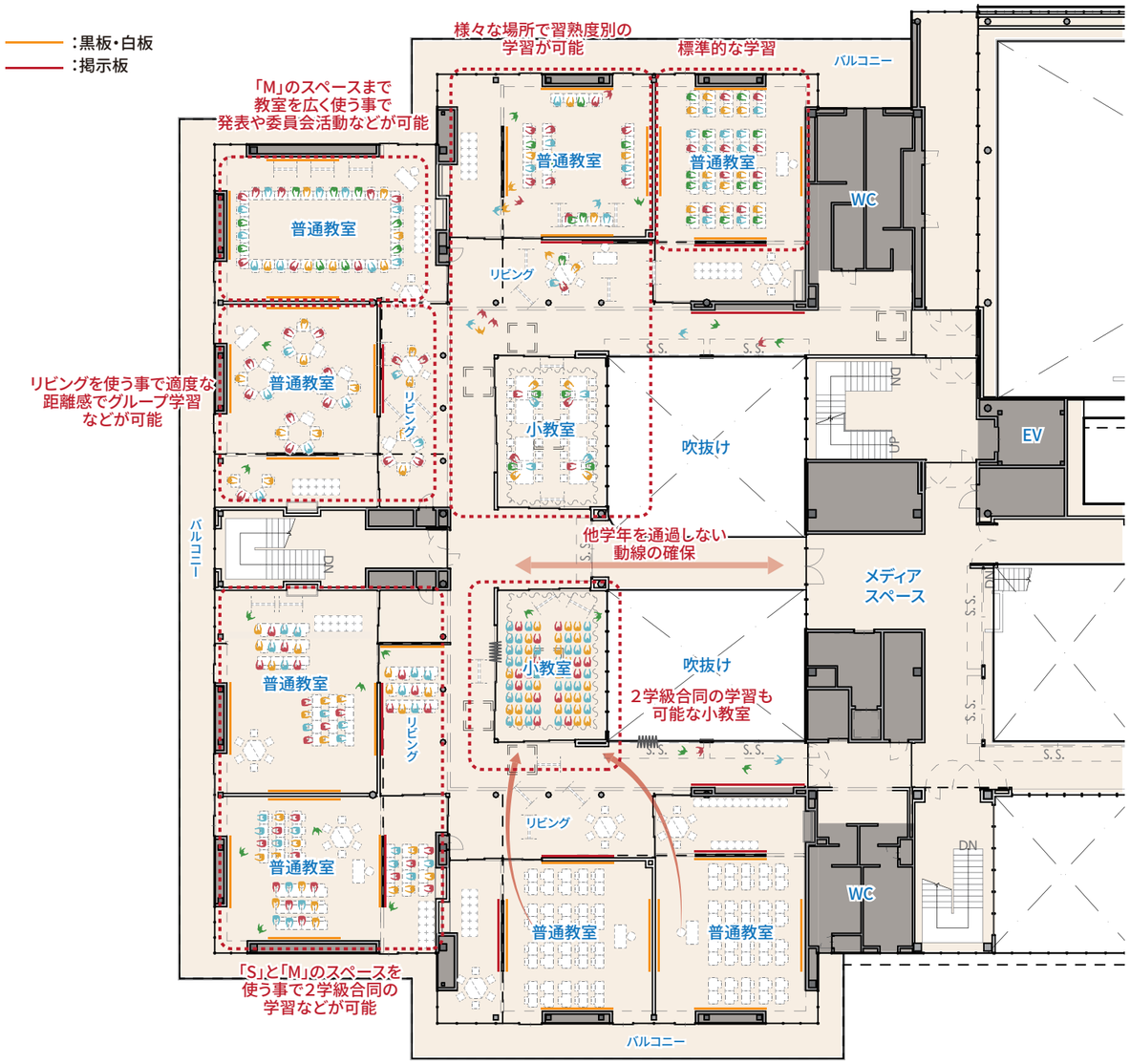
【壁の移動により教育の選択肢が広がる平面イメージ】



■ 普通教室ゾーンの具体的な活動のイメージ



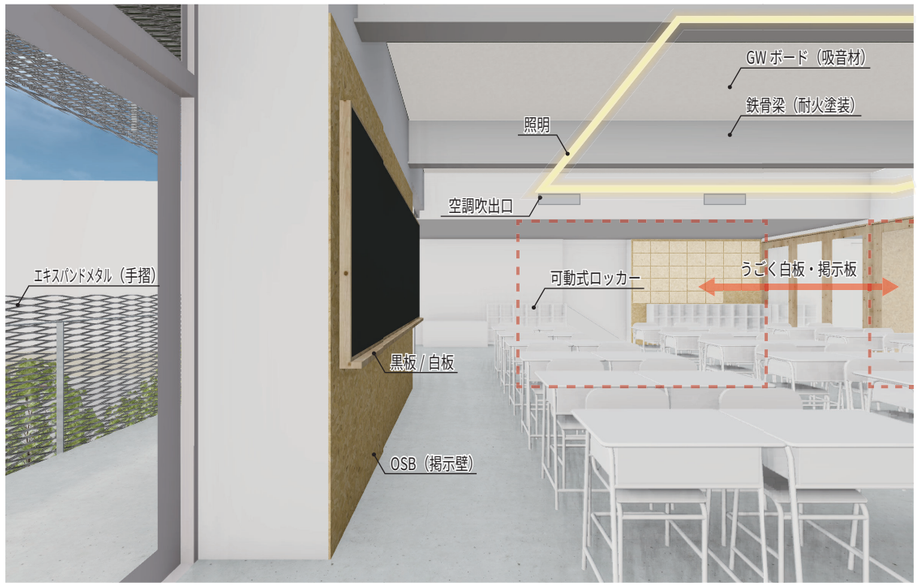
■ 普通教室ゾーン平面図（4階）　S=1/300(A3)



9 - 1. 学年ハウス

■ 普通教室ごとの計画

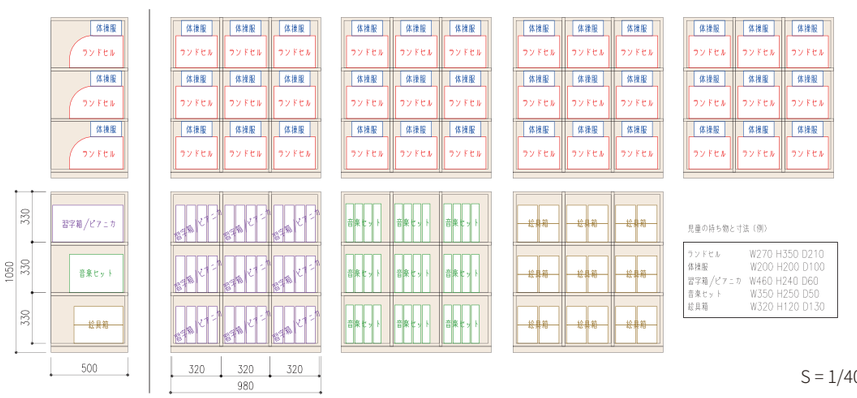
・各教室は「うごく白板・掲示板」で2つのスペースに分けることができます。
・教室内外の壁面はOSB（ストランドボード）仕上げとし、自由に掲示できるようにします。



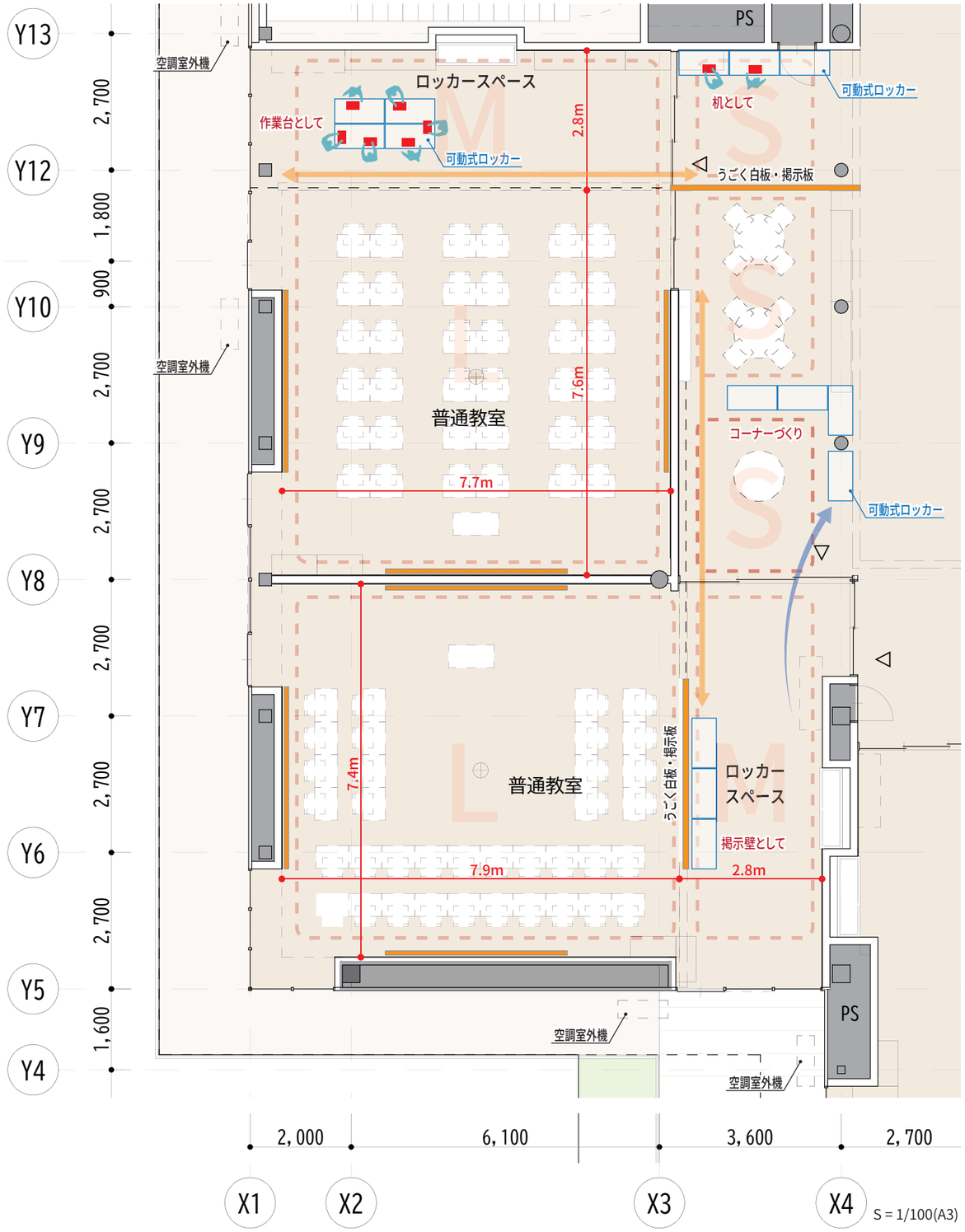
■ 可動式ロッカーの計画

・ランドセル等を収納するロッカーは可動とし、学習内容に合わせて自由にレイアウトできる計画とします。
収める/書く/貼る/集まる/仕切ることのできる大きさ、高さにすることで、活動に合わせた空間をつくります。





S = 1/40(A3)



S = 1/100(A3)

9 - 2. 清瀬ミライラボ

■ 図書館を中心とした「ラーニングコモンズ=まなびミチ」と地域交流機能を配置した「清瀬ミライラボ」

・「清瀬ミライラボ」は地域交流機能（特別教室）のまとまりの中心に、図書館を含む「まなびミチ」を配置した地域共創・協働スペースです。
・特別教室同士を「まなびミチ」でつなぐことで、どこにいても互いに学び・出会い・刺激し合える場所をつくります。
・特別教室毎にセキュリティ区画できる計画とすることで、地域開放エリアを限定して利用できる計画とします。



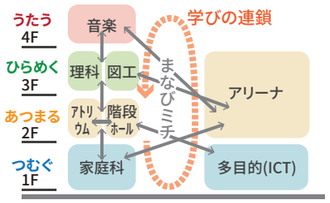
「清瀬ミライラボ」コンセプトイメージ

■ 「つむぐ」「あつまる」「ひらめく」「うたう」をつなげることで生まれる「学びの連鎖」

・特別教室を「つむぐ」「あつまる」「ひらめく」「うたう」の４つの機能に分類し、それぞれの機能にとって最適なフロア（1階～4階）に配置します。
・「つむぐ」「あつまる」「ひらめく」「うたう」の４つの機能（フロア）が吹抜けや「まなびミチ」で立体的につながることで、従来の「学びが教室の中で完結する特別教室」では得られない、学び・出会い・刺激を誘発します。
・「まなびミチ」を中心として、教科毎の魅力が互いに刺激し合える場が生まれることで、学びが連鎖し、児童の出会いや活動をより創発的なものへと変えていきます。

特別教室を4つに分類し各階に配置

うたう：音楽　あつまる：アリーナ、アトリウム、階段ホール
ひらめく：理科、図工　つむぐ：家庭科、多目的



「まなびミチ」を中心に学びが連鎖するイメージ

■ 児童の出会いや学びの連鎖を誘発する様々な仕掛け

【「つむぐ」「あつまる」「ひらめく」「うたう」に合わせた書架配置】

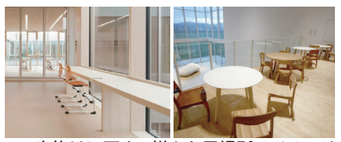
・1階～4階まで各階の特別教室の特性に応じた書架を「まなびミチ」に配置します。そうすることで特別教室内だけで学習が完結することなく、書架を通じて学習や出会いのきっかけが生まれ、学びが連鎖します。

4F うたう ➡ 楽器や音にまつわる書籍など
3F ひらめく ➡ 創作にまつわる書籍など
2F あつまる ➡ 低学年・特別支援の絵本など
1F つむぐ ➡ 歴史や情報にまつわる書籍やインターネットなど

フロアごとの書架イメージ

【吹抜けに面した様々な居場所】

・吹抜けに面して様々な居場所を配置することで、児童の学習や出会いを促します。
・吹抜けに面して児童がいることで他のフロアからも吹抜けを通して活動が視認でき、見通しの良い立体的なコミュニケーションを誘発します。


吹抜けに面する様々な居場所のイメージ

【廊下に面した展示棚】

・各特別教室は廊下に面して展示棚を設けることで、教材や児童の作品を展示することができるようにします。教室内の様子も垣間見れるので学習意欲や異学年交流を誘発します。


廊下に面して設ける展示棚のイメージ

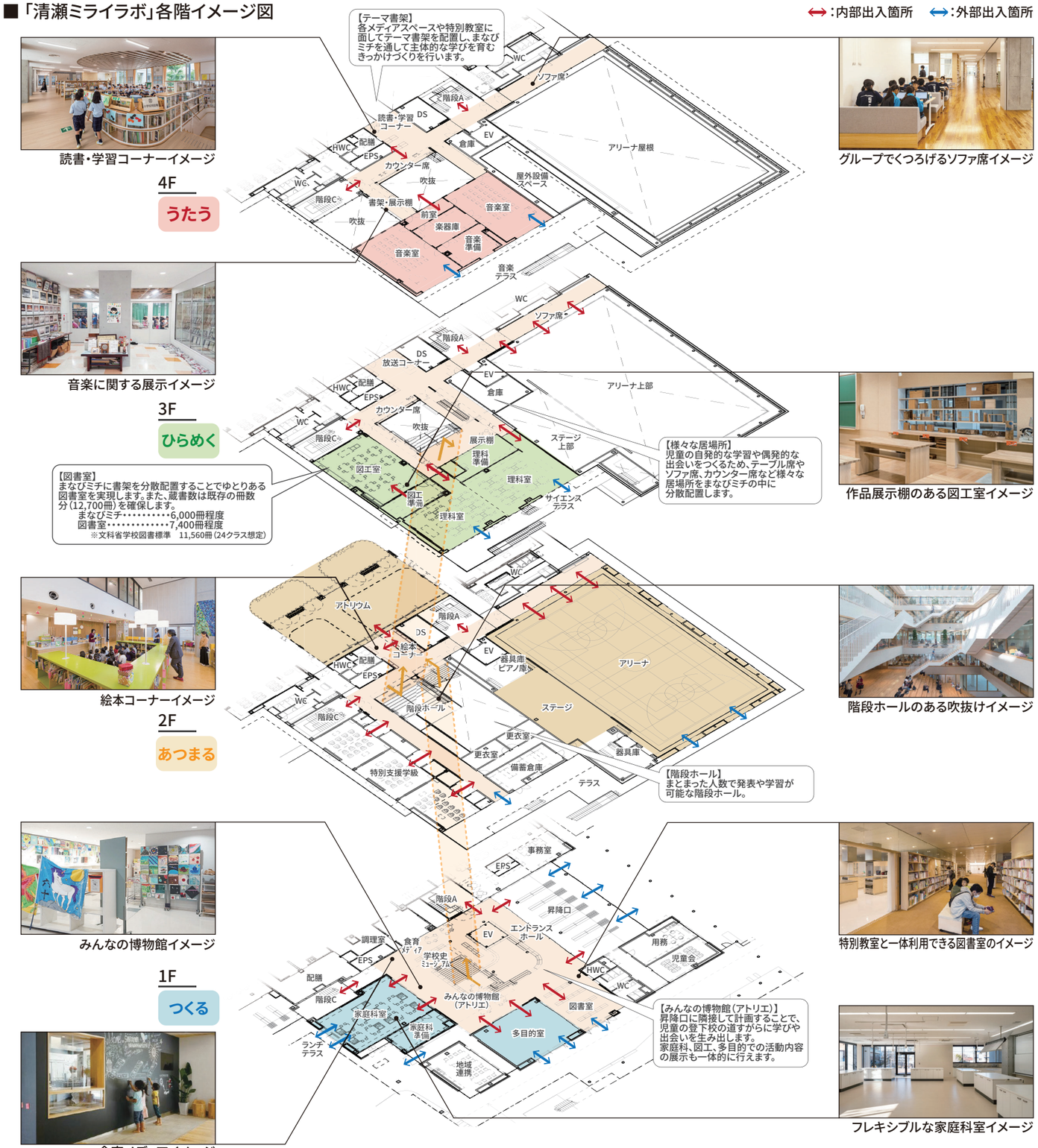
【活動があふれる階段ホール】

・清瀬ミライラボの中心に、様々な発表や活動が集まって行える階段ホールを設けます。


階段ホールで発表会を行うイメージ

■ 「清瀬ミライラボ」各階イメージ図

↔：内部出入箇所　↔：外部出入箇所



読書・学習コーナーイメージ
グループでくつろげるソファ席イメージ
音楽に関する展示イメージ
作品展示棚のある図工室イメージ
絵本コーナーイメージ
階段ホールのある吹抜けイメージ
みんなの博物館イメージ
特別教室と一体利用できる図書室のイメージ
食育メディアイメージ
フレキシブルな家庭科室イメージ

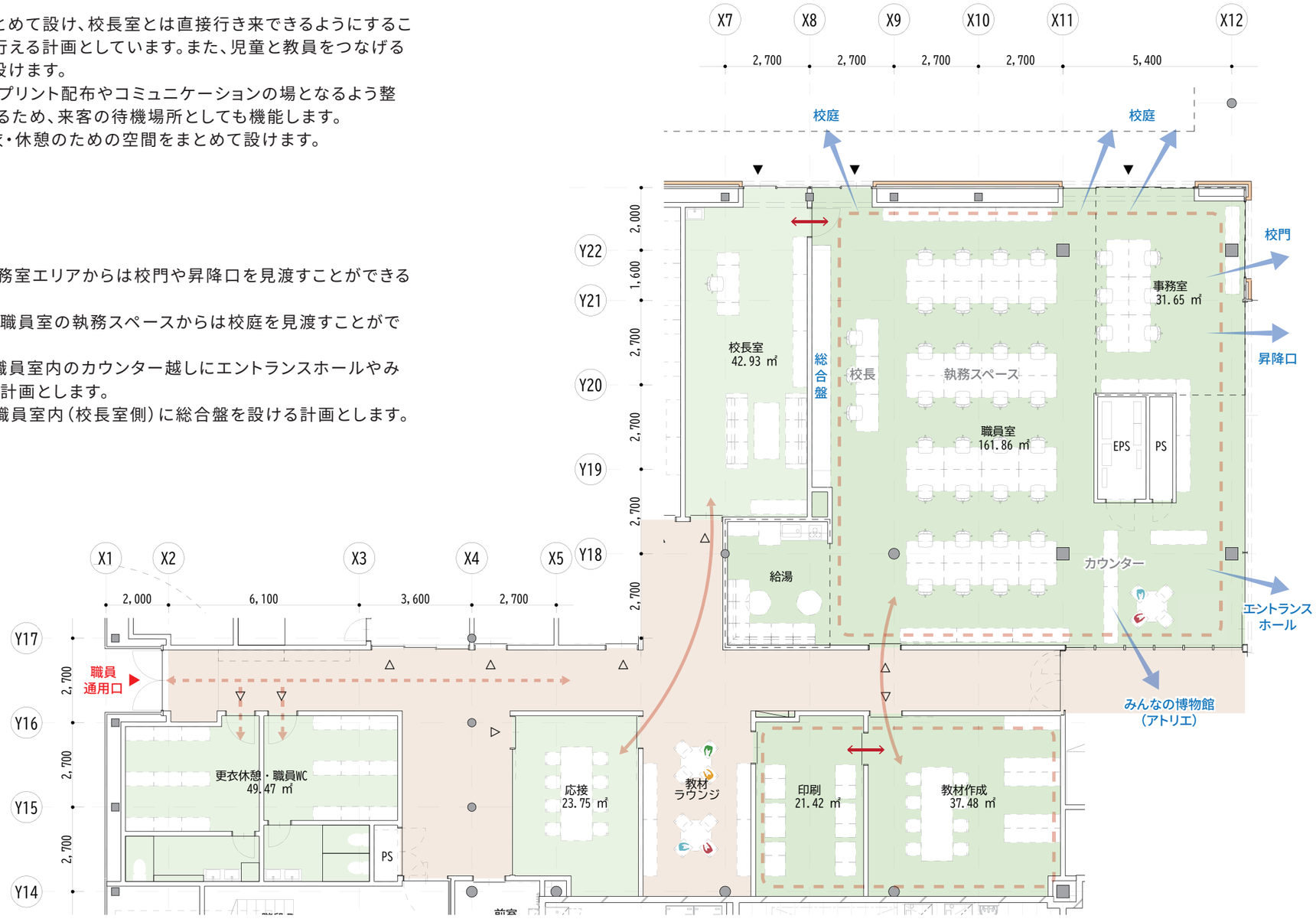
9 - 3. 職員室

■働きやすい校務スペース

・職員室をはじめとする校務スペースを一体的に計画することで、効率的な学校運営に配慮します。
・執務の中心的な空間となる職員室と、教材の作成・収納等のワークスペースとなる教材作成室が廊下を挟んで向かい合うように配置します。また印刷室を独立して設けることで、印刷時の音漏れに配慮します。
・職員室内に事務室や給湯室としての機能もまとめて設け、校長室とは直接行き来できるようにすることで、教職員間のコミュニケーションが円滑に行える計画としています。また、児童と教員をつなげるコミュニケーションの空間としてカウンターを設けます。
・印刷室に面して教材ラウンジを設け、児童へのプリント配布やコミュニケーションの場となるよう整備します。また校長室や応接室とも近接しているため、来客の待機場所としても機能します。
・職員通用口に近接して教職員用のトイレと更衣・休憩のための空間をまとめて設けます。

■学校を見守れる配置

・来客や各種業者の出入りを管理できるよう、事務室エリアからは校門や昇降口を見渡すことができる計画とします。
・児童の怪我や不審者へ即座に対応できるよう、職員室の執務スペースからは校庭を見渡すことができる計画とします。
・来客や児童の活動を感じることができるよう、職員室内のカウンター越しにエントランスホールやみんなの博物館（アトリエ）を見渡すことができる計画とします。
・火災等が起こった際に即座に対応できるよう、職員室内（校長室側）に総合盤を設ける計画とします。

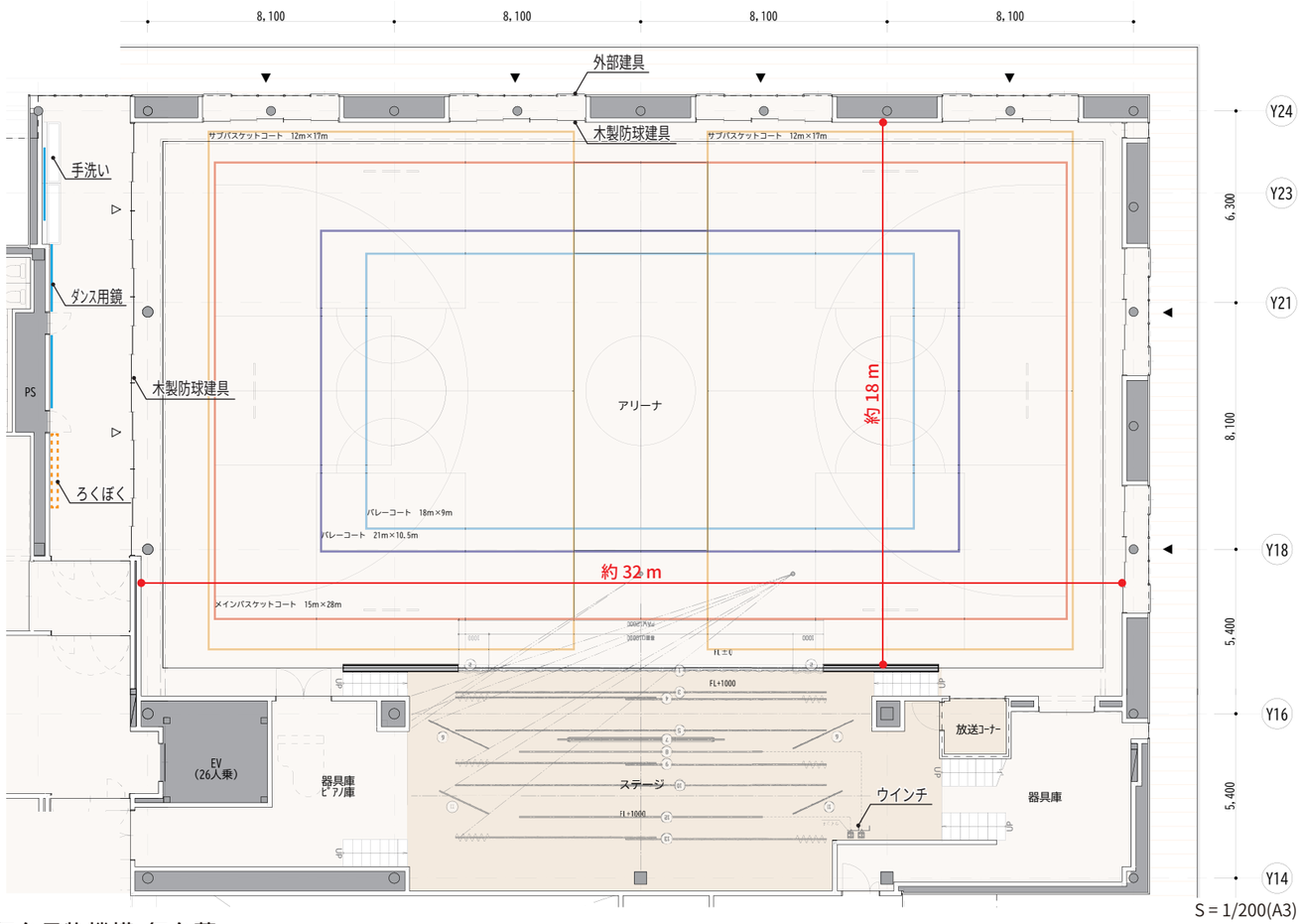


S = 1/150(A3)

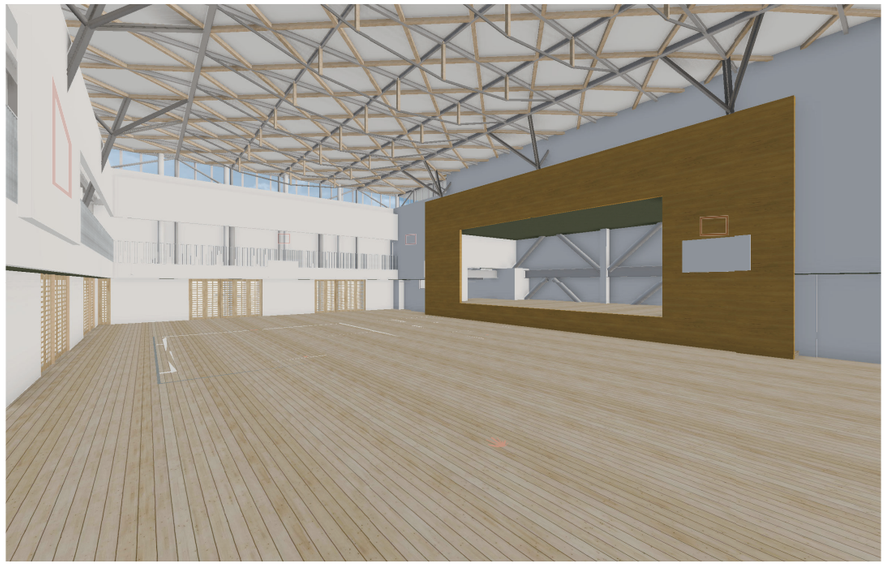
9 - 4. 屋内運動場

■ さまざまな競技・イベントに対応する体育館

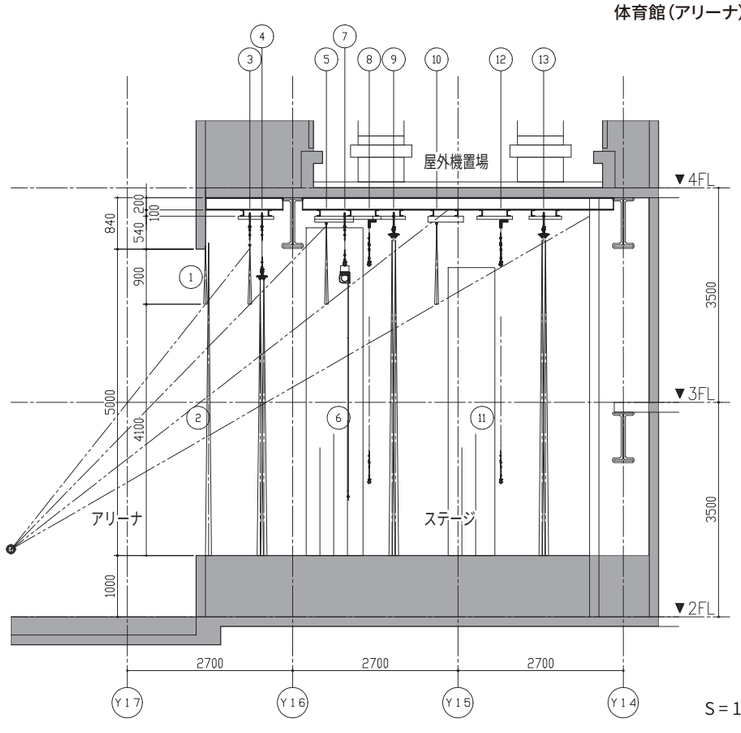
・小学校の体育や式典のほか、地域開放や避難所等、多用途に利用される体育館として計画します。
・約32m×18mのアリーナには、ミニバスケットボール（公式1面/練習用2面）、バレーボール（男子/女子）のコートを設けます。
・コート上は有効高さを8m以上とし、競技に必要な高さを確保します。
・式典や講演、音楽や演劇ができるよう、ステージには舞台装置を設けます。



S = 1/200(A3)



体育館（アリーナ）イメージ



S = 1/100(A3)

■ 舞台吊物機構・舞台幕

舞台吊物機構仕様

No.	名称	装置方式	数	長さ (mm)	パイプ径 (mm)	ワイヤ径（固定） (mm)	吊数（固定）	吊物荷重 (Kg)	自重 (Kg)	備考
1	水引幕	固定釘打式	1式	12200	——	——	——	10	——	
2	源氏幕	固定釘打式	1式	1050×2	——	——	——	10	——	
3	カスミ幕(1)	固定パイプ吊式	1式	12200	31.8 (ﾌﾂｳｶﾝ)	(3)	(6)	10	15	
4	引割緞帳	手動開閉ロープ引式	1式	12200	42.7	(4)	(6)	45	60	N-40レール テンション鉄袋下手操作
5	カスミ幕(2)	固定パイプ吊式	1式	12200	31.8 (ﾌﾂｳｶﾝ)	(UB)	(6)	10	15	
6	見切幕(1)	固定パイプ吊式	1式	2200×2	31.8 (ﾌﾂｳｶﾝ)	(W3/8)	(4)	15	5	
7	スクリーン	手動昇降スプリング式	1式	5500	42.7	(4)	(3)	——	80	4587x3500(200インチ相当) NSK製引下げ機付
8	バトン(1)	手動昇降ウインチ巻取式	1式	8000	42.7	4	4	70	20	100Kg用 1本引き
9	中割幕	手動開閉ロープ引式	1式	12200	42.7	(4)	(6)	35	60	N-40レール テンション鉄袋下手操作
10	カスミ幕(3)	固定パイプ吊式	1式	12200	31.8 (ﾌﾂｳｶﾝ)	(UB)	(6)	10	15	
11	見切幕(2)	固定パイプ吊式/固定パイプ吊式	1式	1400×2	31.8 (ﾌﾂｳｶﾝ)	(3)	(4)	10	5	
12	バトン(2)	手動昇降ウインチ巻取式	1式	8000	42.7	4	4	70	20	100Kg用 1本引き
13	バック幕	手動開閉ロープ引式	1式	12200	42.7	(4)	(6)	35	60	N-40レール テンション鉄袋下手操作

舞台幕仕様（別途工事）

No.	名称	寸法（W×H）	数	生地	生地重量 (Kg)	備考
1	水引幕	12200 × 950	1枚	別珍青八 2倍ヒダ	10	フレンジ3寸 段掛@500アップリケ 裏地付
2	源氏幕	1050 × 5100	1対	別珍青八 2倍ヒダ	10	フレンジ5寸 段名120角アップリケ 裏地付
3	カスミ幕(1)	12200 × 950	1枚	別珍青八 2倍ヒダ	10	
4	引割緞帳	6600 × 4500	1対	別珍青八 2倍ヒダ	45	フレンジ5寸 裏地付
5	カスミ幕(2)	12200 × 1300	1枚	別珍青八 2倍ヒダ	10	
6	見切幕(1)	2200 × 5350	1対	別珍青八 2倍ヒダ	15	
9	中割幕	6600 × 5150	1対	別珍青八 2倍ヒダ	35	
10	カスミ幕(3)	12200 × 1300	1枚	別珍青八 2倍ヒダ	10	
11	見切幕(2)	1400 × 4700	1対	別珍青八 2倍ヒダ	10	
13	バック幕	6600 × 5150	1対	別珍青八 2倍ヒダ	35	

＊幕寸法は参考とし実寸法を計測の上縫製する事

鋼構外工事：ブドウ棚工事（大引き・渡塗ビーム）の一切
水引幕・源氏幕の釘打ち固定用木下地工事
舞台幕の製作・吊込・調整工事

■ コート

ミニバスケットボール（公式）	15m×28m	1面
ミニバスケットボール（練習用）	12m×17m	2面
バレーボール（男子）	21m×10.5m	1面
バレーボール（女子）	18m×9m	1面

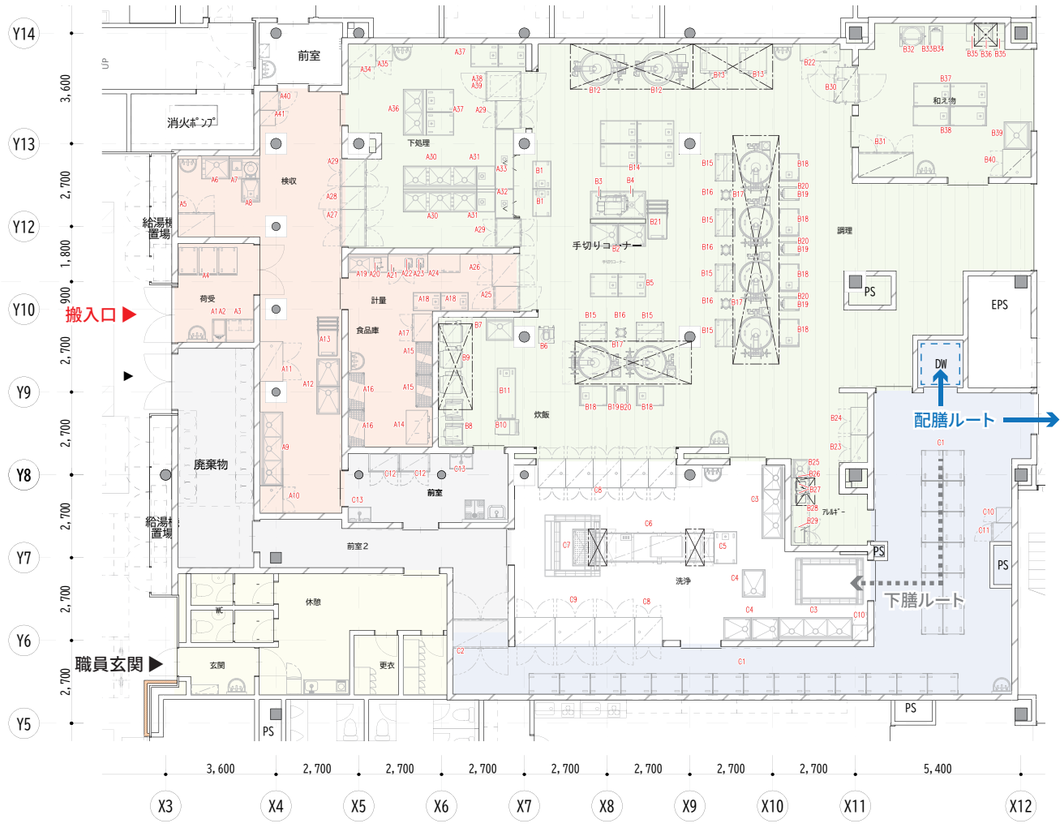
9 - 5. 給食室

■給食室の計画

・汚染区域と非汚染区域を明確に分ける計画とします。
・食数は800食として機器を配置します。
・駐車場に面して搬入口、職員玄関をそれぞれ設け、内部の動線は明確に区分します。

■配膳の計画

・2～4階にある普通教室/特別支援学級には、配膳室内にある小荷物昇降機（DW）により配膳します。
・1階にある職員室/特別支援教室には、配膳室から廊下を経由して直接配膳します。



S = 1/200(A3)

品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	フード	備考
	＜検収～下処理＞							
A1	デジタル台秤	DP-6701K-60	350	605	802	1		秤量60kg
A2	移動台		750	450	500	1		
A3	引出付台下戸棚		900	750	850	1		
A4	L型運搬車		900	600	800	3		
A5	冷蔵庫	GRD-120RX-F	1200	800	1950	1		定格内容積1088L
A6	一槽シンク		900	750	850	1		ドライ仕様
A7	ピーラー	OMP-20FD-C	1000	680	960	1		能力：15~20kg/個
A8	移動ピーラー受槽		750	600	600	1		ドライ仕様
A9	三槽シンク		2400	750	850	1		ドライ仕様
A10	器具消毒保管機	MCWK-20-s75T	900	750	1900	1		奥行750mm仕様 非接触ONOFF機能付
A11	消毒保管機	MCWK-30-s75T	1300	750	1900	1		奥行750mm仕様 非接触ONOFF機能付
A12	モービルシンク		900	750	850	2		ドライ仕様
A13	スタッキングカート	STK-1200	875	700	800	4		
A14	貯米庫		1100	750	1305	1		500kgタイプ
A15	メトロマックスQ	MQ63PE-4/MQ2142G-4	1060	540	1581	2		4段
A16	メトロマックスQ	MQ63PE-4/MQ2148G-4	1215	540	1581	2		4段
A17	冷蔵庫	GRN-090RX-F(改)	900	650	1950	1		定格内容積611L ノンフロン仕様
A18	移動台		900	600	850	2		ドライ仕様
A19	水切付一槽シンク		1300	600	850	1		ドライ仕様
A20	電動缶切機	1000	230	450	388	1		処理能力： 500缶/h
A21	テーブル型消毒保管機	MCTK-4-sT	1300	600	850	1		非接触ONOFF機能付
A22	デジタル式上皿はかり	UDS-600-WPK-15	242	292	126	1		秤量15kg
A23	デジタル式上皿はかり	UDS-600-WPK-3	242	292	126	1		秤量3kg
A24	台下戸棚		1050	600	850	1		
A25	パススルー冷蔵庫	GPD-080RX-G	755	840	1950	1		有効内容積583L
A26	パススルー戸棚		1050	900	1800	1		
A27	パススルー冷蔵庫	GPD-120RX-G(改)	1200	840	1950	1		有効内容積957L ノンフロン仕様
A28	パススルー冷凍庫	GPD-082FDX(改)	755	840	1950	1		有効内容積677L ノンフロン仕様
A29	パススルー冷蔵庫	GPD-090RX-F-G(改)	900	840	1950	3		有効内容積734L ノンフロン仕様
A30	三槽シンク		2400	750	850	2		ドライ仕様
A31	作業台		600	750	650	2		ドライ仕様
A32	水切りカウンター		1100	600	650	1		ドライ仕様
A33	水切りカウンター		1950	600	650	1		ドライ仕様
A34	器具消毒保管機	MCWK-20-s75T	900	750	1900	1		奥行750mm仕様 非接触ONOFF機能付
A35	包丁まな板消毒保管機	KCSK-5-s	550	550	1900	1		収容数 まな板10枚 各T16ｍ 非接触ONOFF機能付
A36	二槽シンク		1500	750	850	1		ドライ仕様
A37	移動台		900	750	850	4		ドライ仕様
A38	カートインパススルー冷蔵庫		900	1150	2350	1		
A39	冷蔵庫内ラック置台		680	850	300	1		
A40	検食用冷凍庫	GRN-062FX(改)	610	650	1950	1		検食用仕様 ノンフロン仕様
A41	掃除用具ロッカー		500	500	1900	1		
	＜調理＞							
B1	移動台		900	600	650	2		ドライ仕様
B2	モービルシンク		900	750	850	2		ドライ仕様
B3	マイコンスライサー	MSI-04	965	655	850	1		静音
B4	移動スライサーシンク		1800	900	650	1		ドライ仕様（MSI-04用）
B5	移動台		900	750	850	2		ドライ仕様
B6	Nミキサー	NMX-16	500	584	1688	1		
B7	一槽シンク		900	750	850	1		ドライ仕様
B8	全自動洗米機	RM-401CGW50L	1460	625	1675	1		50kg対応 ｷｬﾊﾟｼﾃｨ 1回当たり25kg(2.5kg×10) 0.76m²/0.76m²
B9	立型炊飯器	LGS-150	728	732	1325	3	○	7Kg×3釜式 外装：ステンレス
B10	リフト台車	RML-01	500	780	1305	1		
B11	移動台		1650	600	600	1		ドライ仕様

品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	フード	備考
B12	低騰式ガス回転釜	HF2-180	1757	1115	2060	2	◎	蒸気量：178L フライヤー仕様
B13	スチームコンベクションオーブン	iCP20-11E	877	913	1807	2	◎	ホテルパン1/1 15段
B14	移動台		1200	750	850	4		ドライ仕様
B15	移動ラック		900	650	1100	6		ドライ仕様
B16	移動式スパテラスタンド	ST-S	446	446	620	4		
B17	ガス蒸炊き釜	OH2-180-SUS	1772	1115	2100	6	◎	蒸気量192L カラン付
B18	配缶台		900	650	600	6		ドライ仕様
B19	デジタル台秤	DP-6701K-32	350	605	802	4		秤量32kg
B20	移動台		650	450	500	4		
B21	スタッキングカート	STK-1200	875	700	800	4		
B22	消毒保管機	MCSK-15-sT	1300	550	1900	1		スポンラ簡収納 非接触ONOFF機能付
B23	包丁まな板消毒保管機	KCSK-10-sT	900	550	1900	1		まな板10枚 各T15ｍ マイコンスライサー用収納 非接触ONOFF機能付
B24	包丁まな板消毒保管機	KCSK-10-sX	900	550	1900	1		収容数 まな板10枚 各T16ｍ 内反3
B25	一槽シンク		600	600	850	1		ドライ仕様
B26	台下戸棚		900	600	850	1		
B27	IHクッキングヒーター	KZ-CK1402	304	345	54	2	◎	
B28	テーブル型消毒保管機	MCTK-4-sT	1300	600	850	1		非接触ONOFF機能付
B29	電子レンジ	NE-711GV	510	360	306	1		
B30	パススルー真空冷却機	CM-40QEW-L	1130	880	1640	1		蒸気発生装置、左仕様
B31	冷蔵庫	GRD-180RX-F	1790	800	1950	1		定格内容積1674L ノンフロン仕様
B32	和え物釜	SMK-650HM-A	800	650	850	1		釜容量約65L
B33	デジタル台秤	DP-6701K-32	350	605	802	1		秤量32kg
B34	移動台		650	450	500	1		
B35	作業台		400	600	850	2		
B36	電磁調理器	CIH-46-5T(特)	450	600	850	1	◎	基本変更
B37	移動台		1200	750	850	2		ドライ仕様
B38	配缶台		1200	650	600	2		ドライ仕様
B39	一槽シンク		900	900	850	1		ドライ仕様
B40	消毒保管機	MCWK-20-sT	900	950	1900	1		非接触ONOFF機能付
	＜配膳～洗浄～準備＞							
C1	配膳ワゴン		900	750	910	26		
C2	パススルー牛乳冷蔵庫	GMW-180RM1-RS(改)	1800	945	1910	1		定格内容積2011L
C3	三槽シンク		2400	750	850	2		ドライ仕様
C4	モービルシンク		900	750	850	3		ドライ仕様
C5	移動台		1050	750	850	1		ドライ仕様
C6	食器トレイ洗浄機	EOF-M23EA-R	3860	940	1870	1	○	排水ユニット付
C7	移動受台		1200	750	720	1		ドライ仕様
C8	消毒保管機	MCW-20-sT	900	950	1900	6		非接触ONOFF機能付
C9	消毒保管機	MCW-30-sT	1300	950	1900	3		非接触ONOFF機能付
C10	掃除用具ロッカー		500	500	1900	2		
C11	検食用冷凍庫	GRN-062FX(改)	610	650	1950	1		検食用仕様 ノンフロン仕様
C12	衣類殺菌保管機	NSL-10C	1000	600	1900	2		1段収容
C13	手洗いシンク	NHWS-1AA	750	500	850	2		一人用
	設備容量合計							

9 - 6. 学童保育室

■ 学童保育室の計画

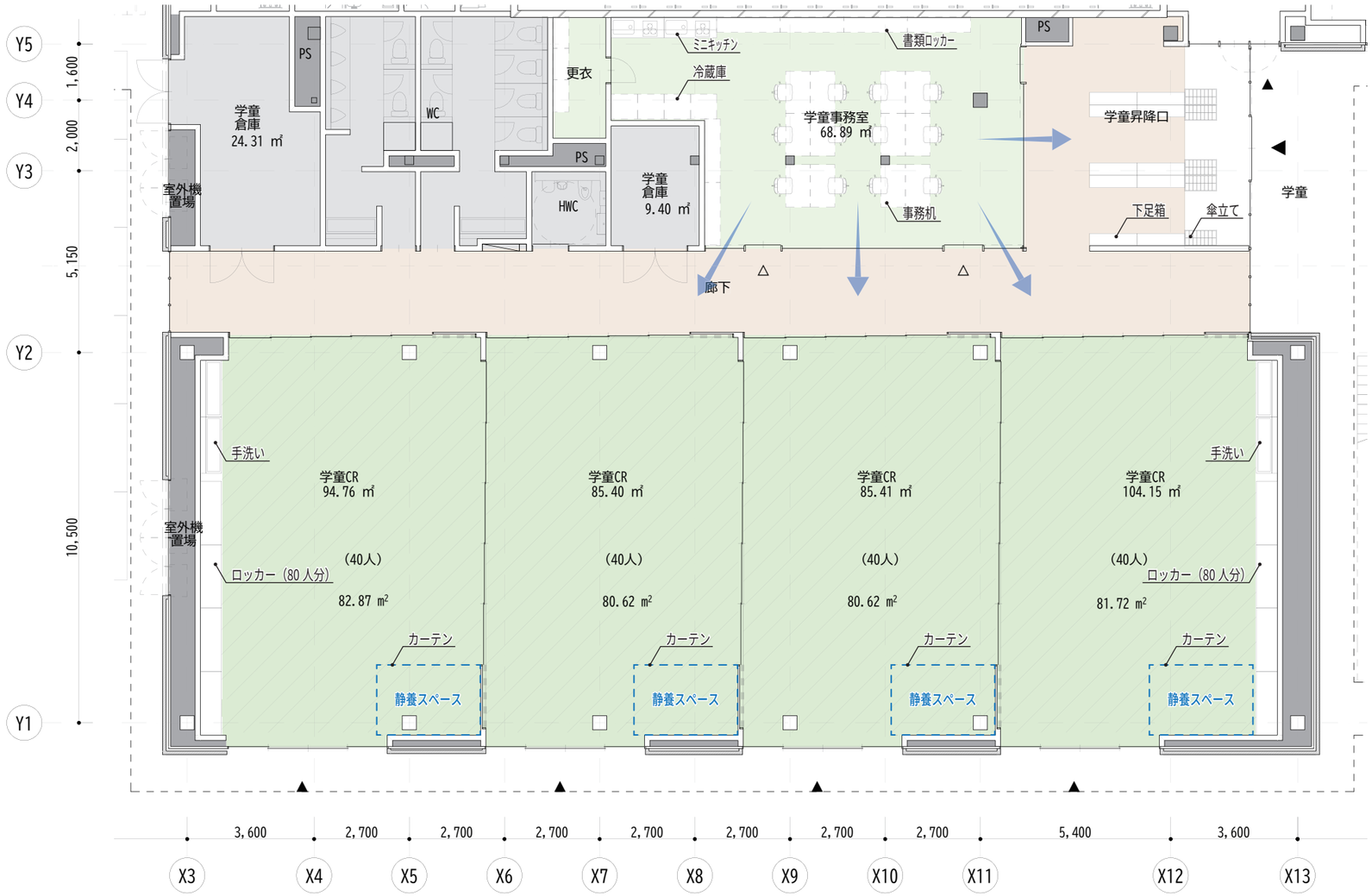
・学童保育室は児童の生活環境を考慮し、スペースを最大限活用できるよう、育成室や廊下との間を建具でオープンにできる設えとします。
・昇降口や育成室を見守れるよう、学童事務室は中央に配置します。
・外部の遊び場として、プレイコートやテラスを整備します。
・昇降口には学童160人と職員30人の下足箱と傘立てを設けます。

■ 各育成室（学童CR）の計画

・最大40人の児童が入ることを想定し、各室79.2㎡（1人あたり1.98㎡）以上の有効床面積を確保します。
・南向きの大きな開口部を設けることで、明るく快適な室内環境を確保します。
・両端の育成室にはランドセル等を置くロッカーと手洗い、カーテンで仕切られた静養スペースを設けます。
・2方向避難の経路を確保できるよう、廊下と外部に面する計画としています。



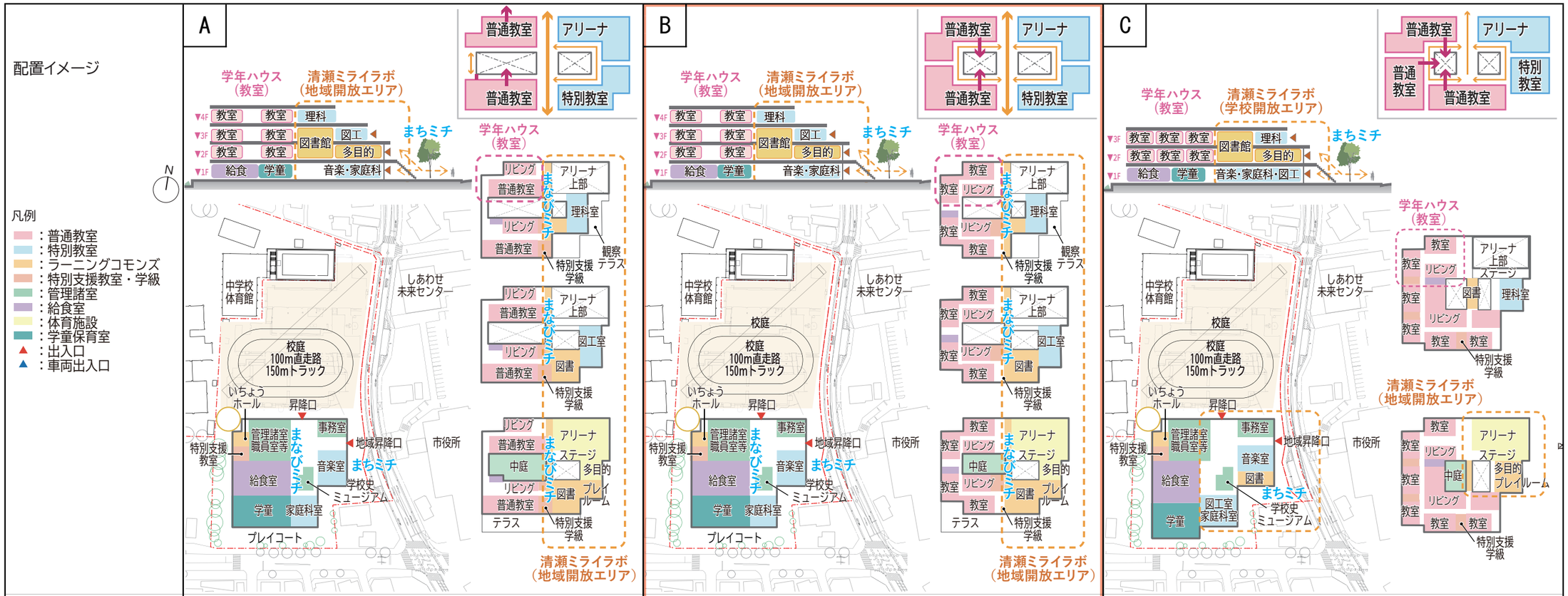
プレイコート・テラス（鳥瞰）イメージ



S = 1/150(A3)

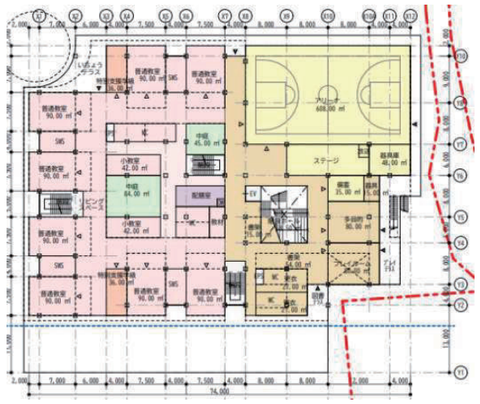
10 - 1. 配置・ゾーニング比較検討

・配置・ゾーニング検討にあたり、検討案を3案作成し下記表の項目について比較検討を行った。
・前提条件として既存小学校は残して建替えができる範囲で、新校舎を検討する。

	A	B	C
配置イメージ			
階数	○ 地上4階建て（基準階高3.8m）	○ 地上4階建て（基準階高3.8m）	◎ 地上3階建て（基準階高3.8m）
規模	△ 11,500㎡	○ 11,000㎡	△ 11,500㎡
ゾーニング	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、中庭を囲むロの字型の回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、図工 4階：普通教室、理科室	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、中庭を囲むロの字型のコンパクトな回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、図工 4階：普通教室、理科室	△ 中庭を中心に教室ゾーンを設け、中庭を囲むロの字型の回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室、図工、図書 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、理科室 （まなびミチのような中心的な動線が無い）
教室の向き	○ 南向き、中庭向き	○ 北、西、南向き	○ 北、西、南向き
教室のまとまり	○ 4クラスで1つのまとまりとなり、1つのまとまりがやや大きく教室前の環境に差がある。	◎ 2クラスごとのまとまりで、学年の中央にリビングがありまとまりがある。	◎ 2クラスごとのまとまりで、学年の中央にリビングがありまとまりがある。
学童の配置	◎ 南側のプレイコートに面して計画	◎ 南側のプレイコートに面して計画	○ 南側に計画
プレイコートの広さ	○ 南向きで50m直走路が入る広さ	○ 南向きで50m直走路が入る広さ	－ なし
近隣への配慮	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。 近隣に建物が近くなるが建物高さは押えることができる。
総合評価	○	◎	○

10 - 2. ブロックプランの比較検討

・ブロックプランの検討にあたり、下記表の項目について比較検討を行った。

	B1 大きな中庭	B2 小さな中庭2つ、タテヨコに広がる教室	B3 大きな中庭、タテヨコに広がる教室	最終案
配置イメージ N 凡例 ：普通教室 ：特別教室 ：ラーニングコモンズ ：特別支援教室・学級 ：管理諸室 ：給食室 ：体育施設				
階数	○ 地上4階建て（基準階高3.8m）	○ 地上4階建て（基準階高3.8m）	○ 地上4階建て（基準階高3.8m）	◎ 地上4階建て（基準階高3.5m）
規模	○ 11,000㎡	△ 11,800㎡	○ 11,600㎡	◎ 10,550㎡
ゾーニング	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、中庭を囲むロの字型のコンパクトな回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、図工 4階：普通教室、理科室	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、小さな中庭を設けた明るく共用部の広い計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、図工 4階：普通教室、理科室	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、中庭を囲むロの字型のコンパクトな回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、音楽室、家庭科室 2階：普通教室、体育館、多目的室プレイルーム、図書 3階：普通教室、図工 4階：普通教室、理科室	◎ まなびミチを中心に教室ゾーンと特別教室ゾーンを分け、アトリウムを囲むロの字型のコンパクトな回遊動線のある計画 1階：管理諸室、給食室、家庭科室、多目的室 2階：普通教室、体育館、アトリウム 3階：普通教室、図工室、理科室 4階：普通教室、音楽室
教室の向き	○ 北、西、南向き	○ 北、西、南向き　コーナーを利用した2面採光が可能	○ 北、西、南向き　コーナーを利用した2面採光が可能	○ 北、西、南向き　コーナーを利用した2面採光が可能
教室のまとまり	○ 2クラスごとのまとまりで、学年の中央にリビングがありまとまりがある。	○ 2クラスごとのまとまりで、教室間にスモールワークスペースを設けた案。学年の中央にリビングがありまとまりがある。	◎ 2クラスごとのまとまりで、教室間に小教室を設けた案。学年の中央にリビングがありまとまりがある	◎ 2クラスごとのまとまりで、教室間に小教室を設けた案。学年の中央にリビングがありまとまりがある
特別支援	○ 学年の中央にあり西側から採光が得られる。ややコンパクト	○ 学年毎の中央に配置。半教室ずつ分散配置。	◎ 学年の中央に1教室分の広さを確保し、中庭から採光が得られる	◎ 6学年分の教室を2階にまとめて配置し、南面から採光が得られる
学童の配置	◎ 64㎡3室を南側のプレイコートに面して計画	◎ 82.5㎡4室を南側のプレイコートに面して計画	◎ 82.5㎡4室を南側のプレイコートに面して計画	◎ 82.5㎡4室を南側のプレイコートに面して計画
更衣室・教材庫	△ 更衣室は開放と兼用 教材庫はまなびミチに面して学年ギャラリーとして配置。	○ スモールワークスペースを更衣室兼用することが可能。小教室も別に設け、充実した案。	◎ 小教室を更衣室兼用することが可能。教材庫はギャラリーとしてフロアの中央に配置	◎ スモールワークスペースを更衣室兼用することが可能。小教室も別に設け、充実した案。
プレイコートの広さ	○ 南向きで50m直走路が入る広さ	○ 南向きで50m直走路が入る広さ	－ なし	△ 南向きで50mトラックが入る広さ
近隣への配慮	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。	○ 南側道路からのセットバックや隣地との離隔を確保できる。
総合評価	○	○	◎	◎

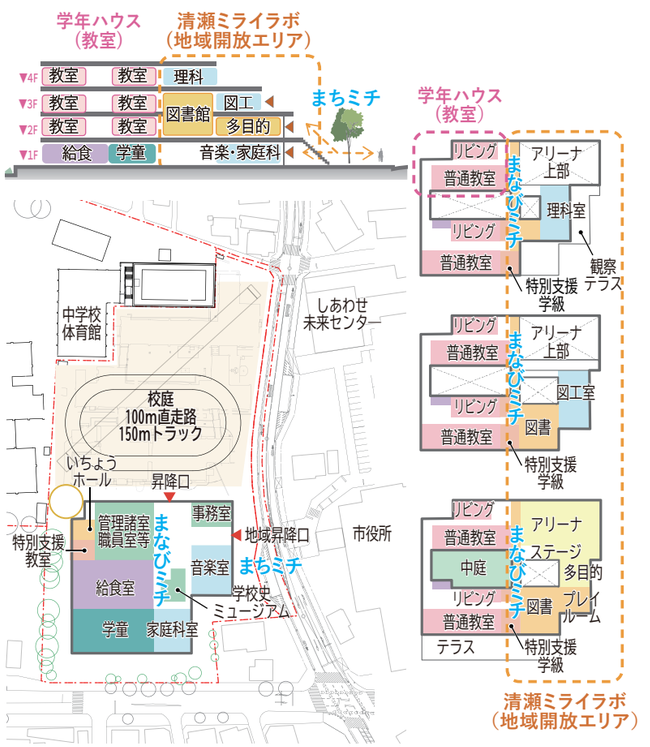
10 - 3. 面積比較検討

・校舎の延べ床面積について、プロポーザル時から、様々な要望に伴う面積の変遷を示す。

500 ㎡減少

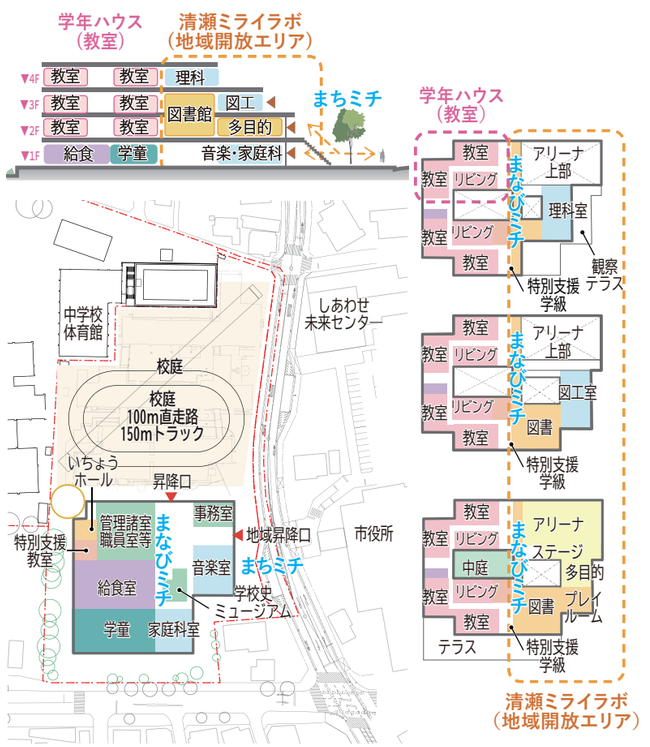
500 ㎡増加

プロポーザル時：11,500 ㎡



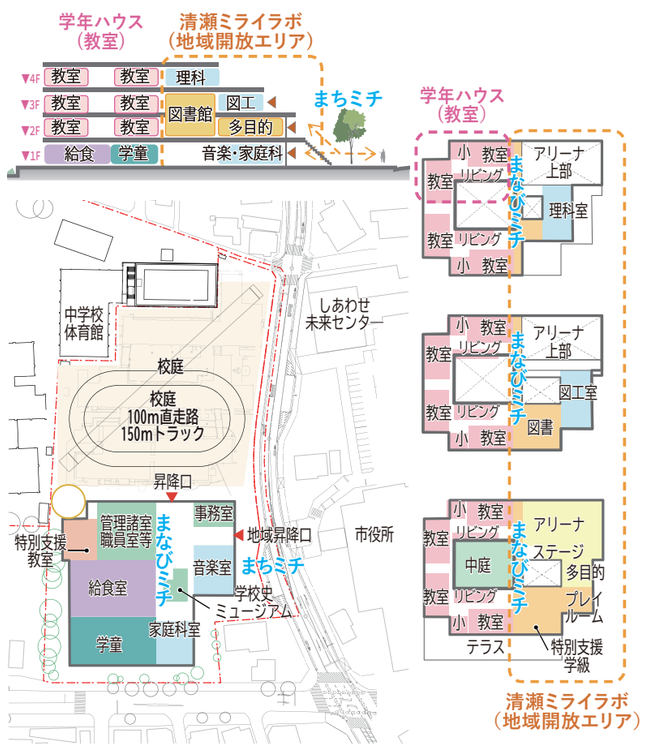
■2025/02 11,500㎡

面積縮小案：11,000 ㎡



■2025/05 11,000㎡

要望反映案：11,500 ㎡



■2025/07 11,500㎡

・給食室600㎡から700㎡に変更	+100㎡
・学童　定員による面積確定　室数が3室から4室に変更	+80㎡
・小教室各学年各学年半教室から1教室に変更	+240㎡
・特別支援教室大きさに変更	+50㎡

■2025/09 10,340㎡

・プレイルーム（中庭の屋内化）	+235㎡
・全体面積縮小	-1395㎡

■2025/10 10,435㎡

・各室面積調整	+95㎡

■2025/11 10,700㎡

・学童要望による変更	+265㎡

■2026/02 10,550㎡

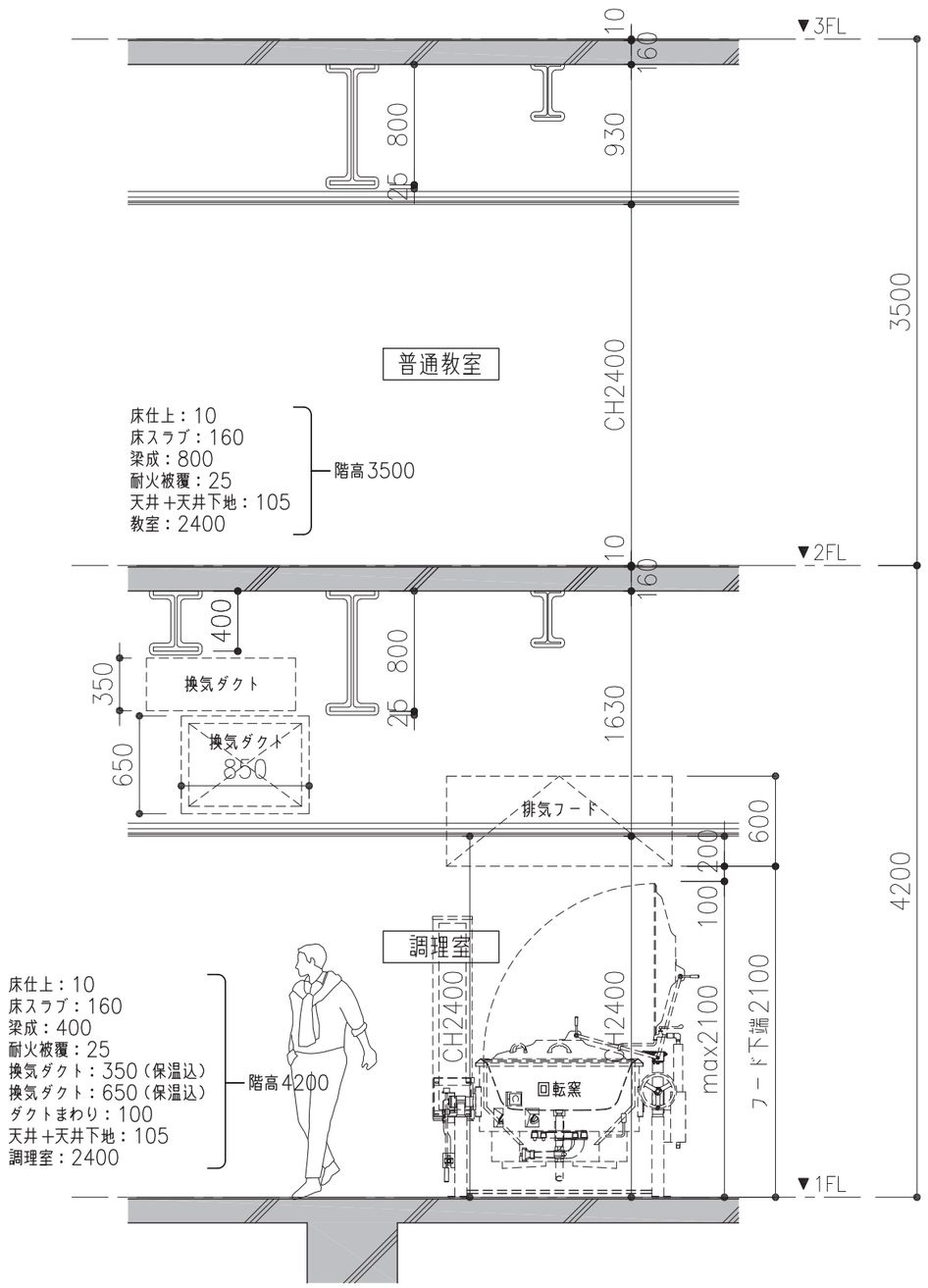
・全体面積縮小（減額案）	-150㎡

10 - 4 . 階高検討

■階高の考え方

【1階】
・調理室の天井内を通る換気ダクト及び鉄骨梁の大きさにより必要な天井ふところ寸法が決まるため、
1階の階高を4200mmと設定します。

【2～4階】
・普通教室の天井内の鉄骨梁の大きさにより必要な天井ふところ寸法が決まるため、2～4階の階高を
3500mmと設定します。



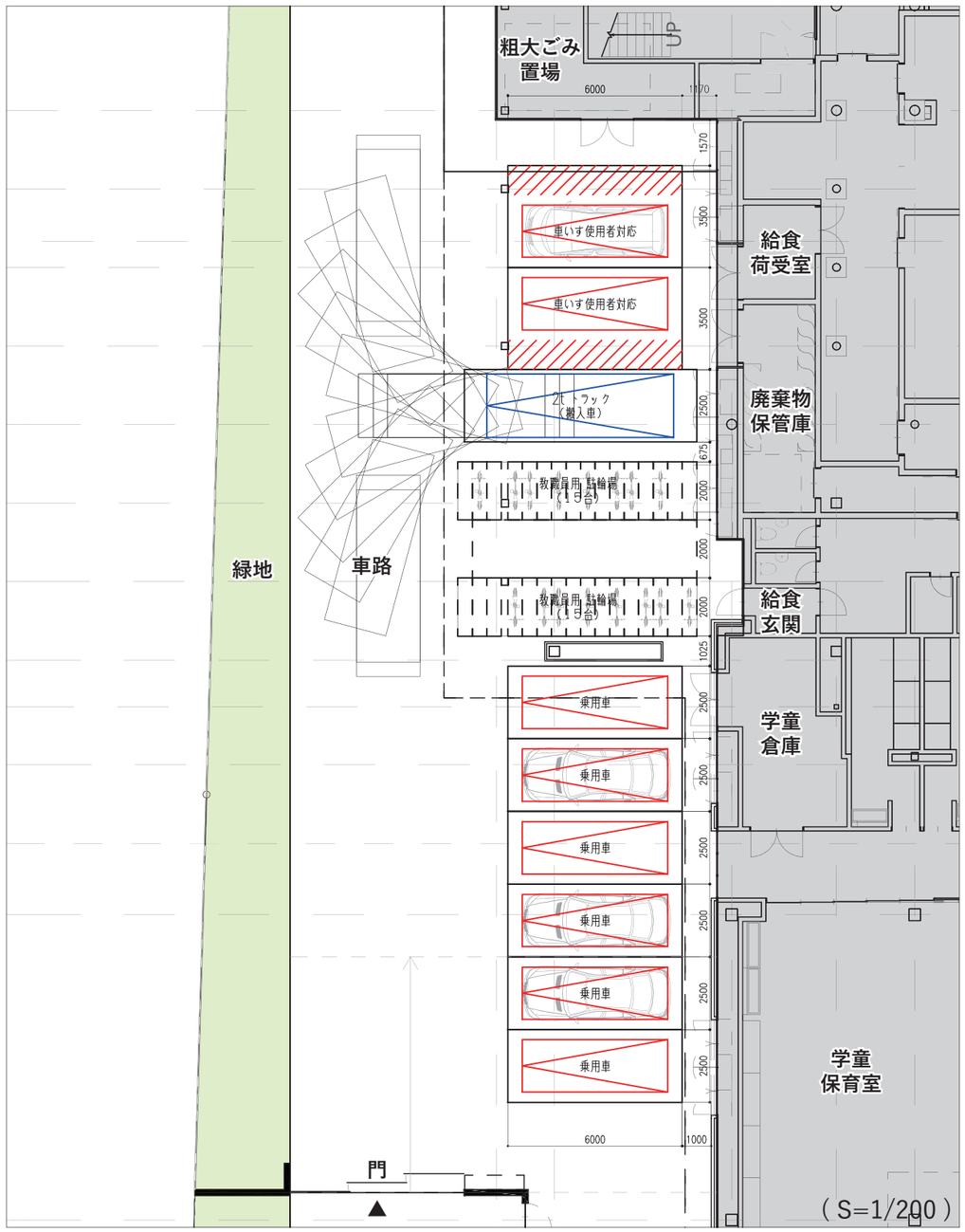
（S=1/40）

10 - 5. 駐車場検討

■通常期間の計画

・車いす使用者対応の駐車スペースは、通用口に近接して配置します。
・給食搬入車や教職員の自転車は、ピロティ空間に駐車することができ、雨を避けて出入口までアクセスできる計画としています。

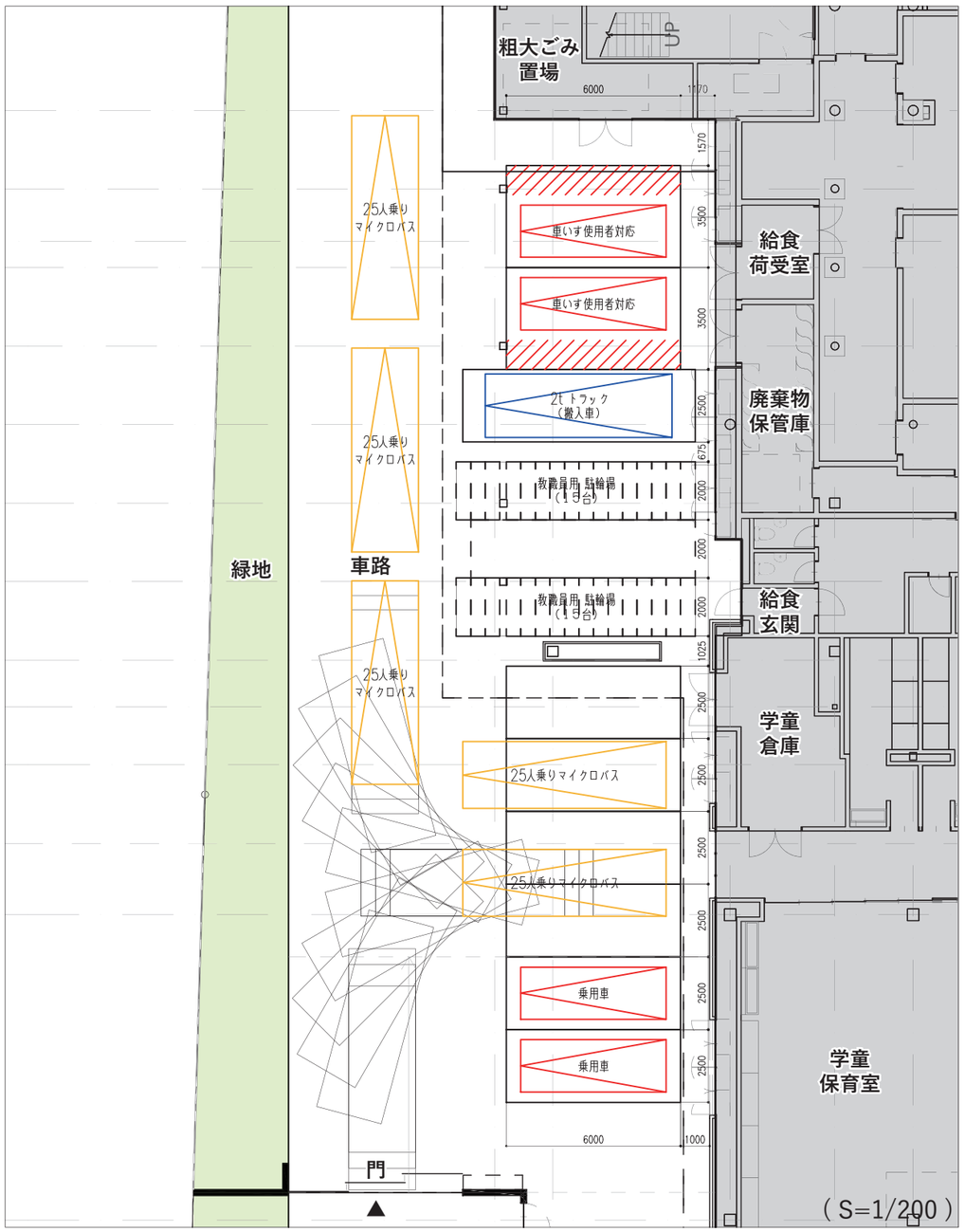
・車いす使用者対応	2台
・乗用車	6台



■マイクロバス使用期間の計画

・外部の民間プールを利用した体育の授業等がある期間は、乗用車の駐車スペースの一部を活用し、児童が利用するマイクロバスが駐車できる計画とします。

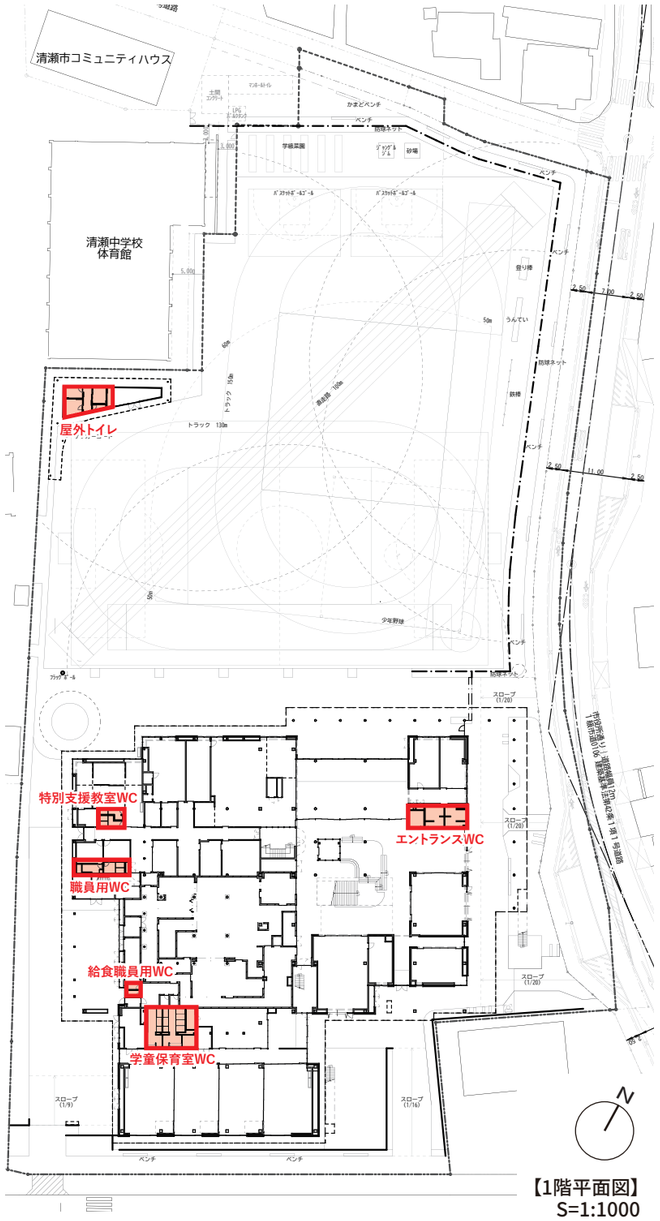
・25人乗りマイクロバス	5台
・車いす使用者対応	2台
・乗用車	2台



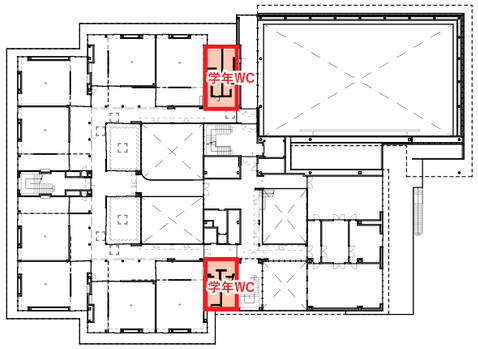
10 - 6. トイレ適正配置計画

■各トイレの配置

・1Fはエントランス付近に児童や地域開放のためのトイレを設置する。
・2F～4Fは中央にトイレを集約して設置し、特別教室からも利用しやすい計画とする。
・学童保育室、特別支援教室、特別支援学級には各エリア内に個別にトイレを設置する。
・校庭には屋外トイレを設置する。

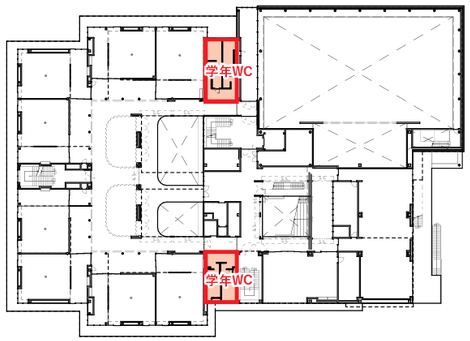


【1階平面図】
S=1:1000



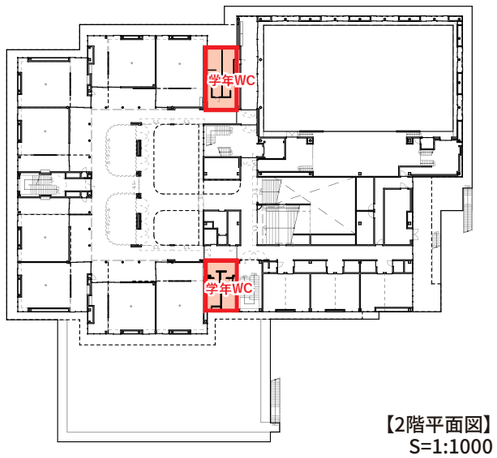
【4階平面図】
S=1:1000

4FL 1:1000



【3階平面図】
S=1:1000

3FL 1:1000



【2階平面図】
S=1:1000

■器具数の算定

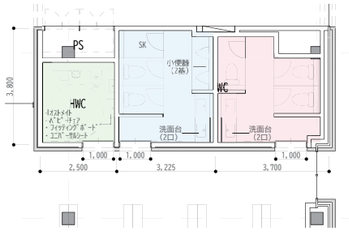
衛生器具は、空気調和・衛生工学会「衛生器具の適正個数算定法」に基づきゆとりある器具数となる「レベル1」を想定した個数を設置する。

1F　エントランスWC

対象児童数　：70人（35人×2）
（男子比率）：50％
－男子　：35人
－女子　：35人

		器具数(ﾚﾍﾞﾙ1)
男子	大便器	(2)
	小便器	(3)
	洗面器	2
女子	大便器	3
	洗面器	2

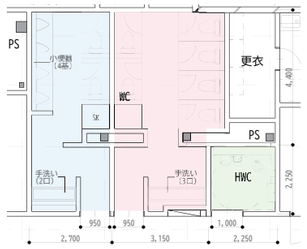
※ カッコ内は基準がないため、参考値



1F　学童保育室WC

対象児童数　：160人（40人×4）
（男子比率）：50％
－男子　：80人
－女子　：80人

		器具数(ﾚﾍﾞﾙ1)
男子	大便器	2
	小便器	4
	洗面器	2
女子	大便器	5
	洗面器	3



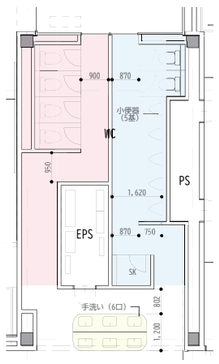
2F～4F　学年WC

対象児童数　：140人（35人×4）
（男子比率）：50％
－男子　：70人
－女子　：70人

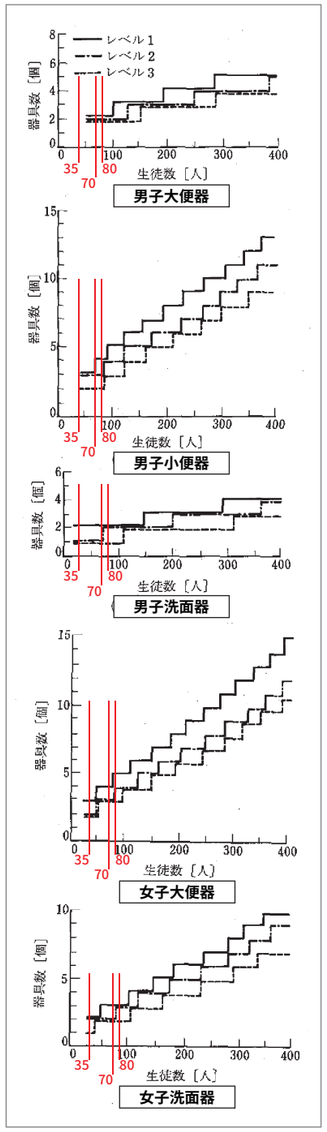
		器具数(ﾚﾍﾞﾙ1)
男子	大便器	2
	小便器	4
	洗面器	2
女子	大便器	4
	洗面器	3

※ 2学年（280人）で算定した場合

		器具数(ﾚﾍﾞﾙ1)
男子	大便器	3
	小便器	6
	洗面器	2
女子	大便器	6
	洗面器	4



※ 図面は北側の学年トイレ、器具数は南北で等しい

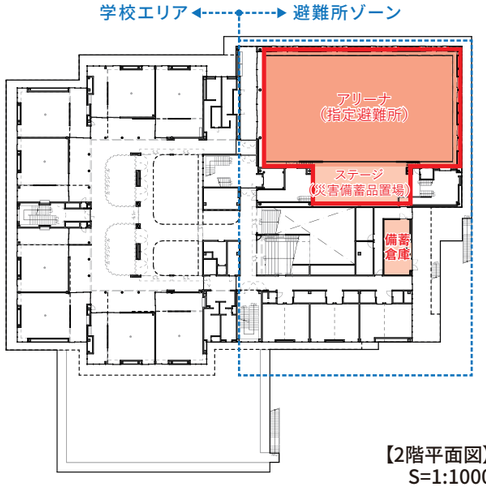


□衛生工学会基準凡例
レベル1：レベル2の1/2の時間待つことがあるもの
レベル2：ほぼ1人分の占有時間だけ待つことがあるもの
レベル3：レベル2の2倍の時間待つことがあるもの
（大便器は1.5倍）

10 - 7. 防災備蓄倉庫検討

■防災備蓄倉庫の配置

・長期にわたって避難所として利用されることが想定されるアリーナ・ステージに近接して、防災備蓄倉庫を配置する。



【2階平面図】
S=1:1000

■防災備蓄品の保管レイアウト

・防災備蓄品リストから、防災備蓄品をすべて段ボールに換算した場合、313箱分と期限切れの食料を加えた数を保管するスペースが必要。

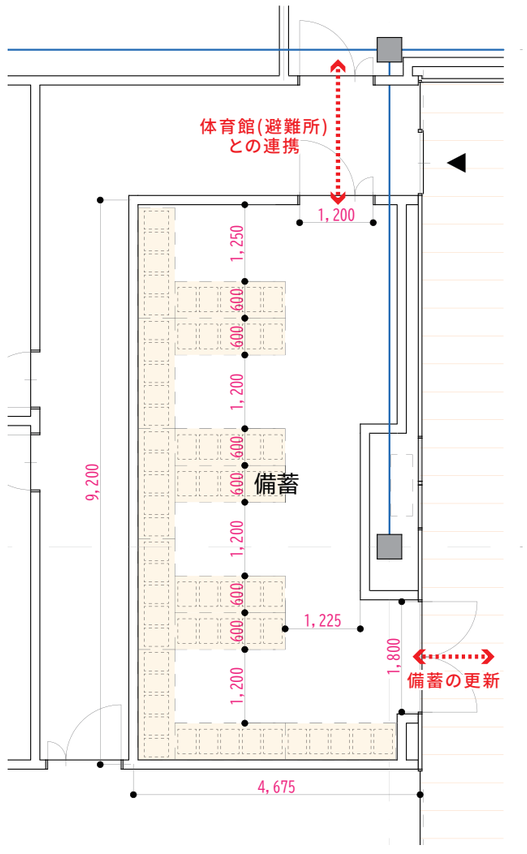
・右レイアウトのようにラックを配置した場合、ラック13台を使用することができる。

・段ボールを30cm×40cm程度とした場合、1段あたり65箱の段ボールを保管することができる。

・5段以上のラックを使用することで、325箱以上の段ボールを保管することができる。



【ラックのイメージ】



【保管レイアウト】
S=1:100

■清瀬小学校防災備蓄品リスト

NO	品　名	数量	単位（個入り）		合計	備考
2	パンの缶詰	6箱	90	食/箱	540食	
10	アルファ米（わかめ）	20箱	50	食/箱	1,000食	
16	アルファ米（ドライカレー）	20箱	50	食/箱	1,000食	
22	アルファ米（白米）	20箱	50	食/箱	1,000食	
25	おかゆ（梅がゆ）	20箱	50	食/箱	1,000食	
31	おかゆ（白かゆ）	20箱	50	食/箱	1,000食	
	主食合計数　※期限切れを除く	106箱			5,540箱	
40	みそ汁	10箱	200	食/箱	2,000食	
	副食合計数　※期限切れを除く	10箱			2,000食	
46	ビスケット（ハーベスト）	40箱	48	食/箱	1,920食	
	補食合計数　※期限切れを除く	40箱			1,920食	
52	保存水（2.0）	20箱	6	本/箱	120本	
	保存水合計数　※期限切れを除く	20箱			120本	▶176箱 ＋期限切れ
2	毛布	5	10	枚/箱	50枚	
31	簡易トイレ（一箱200回分）	10	200	回分/箱	2000	
38	救急箱	1	1	箱	1	▷16箱
16	コードリール	1	1	台	1	
19	発電機（ガス）　4ストロークエンジン	1	1	台	1	
28	ブルーシート（３．６×５．４）	1	10	枚	10	
33	投光機（LED）	1	1	台	1	
34	ワンタッチパーテーション（ファミリールーム）	15	1	個	15	
35	プライベートルーム	3	1	個	3	
62	応急給水栓用資機材	1	1	セット	1	
63	レスキューボックス	1	1	セット	1	▷24箱
1	ワンタッチパーテーション（ファミリールーム）	25	1	箱	25	
2	フェイスシールド	4	25	枚/箱	100	
3	非接触型体温計	2	1	台	2	
4	ゴム手袋	2	100	枚/箱	200	
5	ゴミ袋（20L）	4	50	枚/箱	200	
6	養生テープ	2	1	個	2	
7	スプレー容器（500ml）	1	1	個	1	
8	飛散防止用シート（2m×50m）	1	1	本	1	
9	バケツ（10L）	4	1	個	4	
10	雑巾	8	1	枚	8	
11	手指消毒剤（1ℓ）	4	1	個	4	
12	マスク（避難者配布用・職員用）	16	50	枚/箱	800	
13	キッチンハイター　or　ピューラックス	2	1	本	2	
15	すずらんテープ	2	1	個	2	
18	アイソレーションガウン	4	10	枚	40	
27	ペーパータオル	10	1	個	10	
28	液体ハンドソープ	6	1	個	6	▷97箱

計：313箱
＋期限切れ